



Environment Media Management Art Technology
ent Media Management Art Technology
edia Management Art Technology

平成19年度

新潟大学副専攻制度

新潟大学

はじめに

皆さんは、将来を考えて選択した専門分野での勉学を深めることを目的に、大学に入学されたことと思います。もちろん、高校生の段階では専門領域の詳細について十分に理解されてはいないと思いますし、また、将来の設計がきちんとできているわけではないでしょう。したがって、確信を持って学科選択したわけではない人もいるのではないかと思います。しかし、深さの程度は様々であるにしても、皆さん方は専門分野での勉学意欲をお持ちのことと思います。

しかし、高等学校までの勉学が、専門分野での勉学の準備として必ずしも充分ではないことも事実です。また、大学で、専門分野を狭く考えて勉学したのでは、将来、社会に出た時に、必ずや自らの識見の狭さに直面することになると思います。大学では、バランスのとれた能力を身につけることを目的に、専門教育と並列して教養教育という教育プログラムを用意してきました。しかし、従来の教養教育がその目的を十分に果たしてきたかという点、必ずしもそうとは言えません。その結果として、学生の知的関心の狭隘化や専門分野の理解の浅薄化を招き、今日、社会からは大学卒業生の基礎学力の低下が指摘されています。基礎学力低下は日本の将来を考えると極めて重大な問題であり、大学には、早急にその克服に努める責務があります。

そのような状況に対応することを目的に、新潟大学では平成16年度から学部教育を学士課程教育と捉えて抜本的改革に着手しました。その一つが「分野・水準表示法」を基礎とした「副専攻制度」の導入です。

副専攻制度

副専攻制度は、所属学部学科の学位とは別に、特定分野の学習成果を認証する制度です。専門分野の勉学の成果は、卒業時に「学士」という称号を得ることで、社会的に認知されます。しかし、従来、専門分野以外の分野について、学習成果を認証する制度はありませんでした。仮に法学部の学生が社会的関心に触発されて、一定水準以上の環境科学の勉学を行ったとしても、それは社会的には認知してもらえませんでした。副専攻制度は、当該専門分野以外の科目を一定単位数以上取得した学生に、その勉学の認証を付与する制度です。学生は卒業にあたって副専攻認定の申請を行います。定められた基準を満たしていることが確認できれば、専門分野に関わる「学士」の卒業証書に加え、分野を明記した「副専攻」を認定する文書を発行します。先の例のような学生は、卒業時に「学士(法学)」の学位に加えて、大学で環境科学を学んだ公的な証明として、環境学の副専攻認定が受けられます。副専攻認定に触発されて、自主的に環境学分野で一定水準以上の学習をした法学部学生は、きっと社会の中でその経験を活かしていただけるはずです。

副専攻には、「課題別副専攻」と「分野別副専攻」の2タイプが設けられています。「課題別副専攻」は、全学で開設されている授業科目を分野横断的に統合した「テーマカリキュラム」が提示されます。一方、「分野別副専攻」は特定の学問分野の授業科目から作られたプログラムが提示されます。提示されている科目から一定の要件を満たすように選択履修して、一定レベル以上の成績で単位を取得した時、副専攻履修者としての認定を得ることができます。平成19年度は両者を併せて20のプログラムが提示されています。学生の皆さんは提示されているプログラムの概要、達成目標、さらに、科目リストの内容を吟味し、認定取得に挑戦していただきたいと思います。

これらの制度は、学生が自立的に学ぶ意欲を持つ時に初めて有効なものとなることは忘れてはいけません。分野・水準表示法は、学生の自主的学習を支援する基礎的な道具であり、副専攻制度は勉学意欲を励ますための施策です。これらの制度が、学生の皆さんの専門的学習に加えて、自ら多元的理解力や統合的理解力を育む上で役に立つことを期待しています。

分野・水準表示法

分野・水準表示法は新潟大学で開講されているすべての科目に、分野と水準を示すコードを統一的に付けたものです。これにより、新潟大学の全開設科目を分野別一覧表の形で見ることができます。科目には水準を示すコードが付してありますので、各科目の難易度を明確に把握し、科目の相互関係や体系性を理解することができます。

「生物学」分野を例に、分野・水準表示法の有効性を説明します。生物学分野の科目は、理学部はもちろん、教育人間科学部、農学部、工学部でも開講されています。平成19年度開設科目一覧には、それら全ての科目が掲載されており、それらには、分野・水準コードが付されています。

生物学とは関連が薄い学科の学生で、なんらかの生物学関連科目を履修し、初めて触れた生物学に興味を引かれる人がいるかもしれません。そのような人がもう少し深く生物学を学んでみようと思った時、開設科目一覧の分野別の科目リストを見て、少し専門的な科目の履修に挑戦する可能性が開かれます。

また、生物学関連領域である農学部の学生が、専門の勉学の中で触れた生物学の基礎概念をさらに極めたいと思った時にも、科目リストは役に立ちます。また、専門に必要な生物学的基礎の不足を感じた場合でも、科目表から適切な授業科目を見つけて挑戦することができるでしょう。

理学部で生物学を学ぶ学生にとっては、教育人間科学部、農学部、あるいは工学部でも生物学に関わる科目が開講されていることを知ることは重要です。他学部で開講されている関連科目から、生物学の新しい展開を知ることが出来るかもしれません。また、生物学の学習を進める中で、数学や物理学、化学分野の基礎が不可欠であることを痛感した時にも、分野・水準コードが付いた開設科目一覧を活用できるでしょう。

文系理系に関わらずすべての分野でも状況は同じです。意欲さえあれば、分野・水準コードを手がかりにして、所属学部にとらわれず、新潟大学の全教員を自らの勉学に活用することが可能です。分野・水準コードが付いた開設科目一覧を利用して自立的な学習計画が立てられれば、総合大学である新潟大学に入学した利点を十二分に生かして、幅広い勉学も、深い勉学も可能となります。そして、このような勉学を通して大学院進学を含め、将来の選択肢が広がるとしたら、それは大きな成果と言えるでしょう。

●分野コード表

分 野		分 野		分 野	
10	情報	41	数学	65	農業工学
13	芸術	43	物理学	66	畜産学
14	健康スポーツ	44	地学	70	英語
15	生活科学	46	化学	71	外国語
16	科学社会学	47	応用化学	74	キャリア意識形成
28	哲学	49	工学基礎	75	新潟大学個性化科目
29	文学	50	機械工学	76	大学学習法
30	言語学	51	電気電子工学	77	課題研究
31	史学	52	土木工学	80	基礎医学
32	人文地理学	53	建築学	81	臨床医学
33	文化人類学・民俗学	54	材料工学	82	社会医学
34	法律学	55	プロセス工学	85	看護
35	政治学	56	人間医工学	86	福祉
36	経済学	57	生物学	87	境界医学
37	経営学	60	農学	90	基礎歯学
38	社会学	61	農芸化学	91	臨床歯学
39	心理学	62	林学	92	社会歯学
40	教育学	64	農業経済	99	その他

●水準コード表

10の位の数字	
0	全学の学生を受け入れることが可能な科目
1	当該学部（学科）の学生に限られる科目
2	教員免許など資格に関わる科目

1の位の数字	
1	大学学習法など、大学での学習を円滑にするためのもの
2	高等学校との接続を意識した水準（リメディアル）
3	通常の大学の基礎的水準
4	専門の中核的水準
5	発展的内容の科目で大学院との接続水準

●副専攻テーマプログラム一覧表

課題別副専攻
環境学
メディア・リテラシー
MOT基礎（特許・経営および製品開発基礎コース）
芸術学
文化財学
外国語（ドイツ語）
外国語（英語）
外国語（フランス語）
外国語（コリア）
外国語（ロシア語）
外国語（中国語）
世界システム論
平和学
地域学

分野別副専攻
法律学
政治学
経済学
会計学
電子・情報科学
統合化学

平成19年度 課題別副専攻

■テーマの名称「環境学」

副専攻の概要 環境問題は、地球システムの認識に始まり、社会の経済活動に至る多様な分野に関わる問題である。人文学部、経済学部をはじめとする文系学部開設科目と理工農など自然科学学部開設科目を活用して、幅広い分野に渡る環境問題への基礎理解を促すプログラムを提供する。

副専攻のねらい 自然科学の諸分野（理学、農学、工学）で「環境」がどのように取り扱われているかを理解する。更に、人文社会学系列の分野で「環境」がどのように取り扱われているのかを修得する。環境問題の本質を理解し、これらの問題を解決出来る能力を備えることをねらいとしている。

副専攻の到達目標

1. 倫理学、経済学、法学基礎知識に基づいて環境を考えることができる。
2. 生活者の視点と地球規模の視点の両面で環境を捉えることができる。
3. 複数の環境問題について、複合的視点で議論することができる。
4. 複数の自然科学分野の基礎に立って、科学的視点で環境問題を考えることができる。

副専攻委員会委員 ○赤林 伸一
・久保田喜裕
・阿部 信行

認定条件及び評価の方法

- ・本副専攻プログラムが定めた授業科目から24単位以上を修得していること。
- ・卒業時の総修得単位数が、所属する学部の卒業要件単位数に12単位以上を加えたものであること。
- ・卒業時のGPAが2.5以上であること。
- ・当該学生が所属する主専攻課程（学科）に関わる科目のうち、副専攻科目として認定する単位は最大6単位とする。
- ・24単位には、A、B、Cに区分された科目をそれぞれ2科目以上含むことが必要である。
- ・コア科目からR科目を含み、12単位以上の単位取得が必要である。
- ・コア科目のうち、A、B、Cに区分された科目から、それぞれ少なくとも1科目は修得するものとする。
- ・「自然環境科学野外実習C」「環境学実習」のうち、いずれか1科目は修得するものとする。
- ・原則として、理学部自然環境科学科、農学部生産環境科学科、工学部建設学科の学生については、本コースカリキュラムによる副専攻認定は行わない。（ただし、それらの学生の聴講を妨げるものではない。）
- ・到達目標に対する評価はR科目の成績で行う。

分類	授業科目名	単位	形式	授業担当者	所属	講義番号	分野	水準	備考
コア	環境学入門	1	演習	赤林 伸一・他	自然科学系(院自然)	070G9001	99	03	R
コア	環境倫理学	2	講義	栗原 隆	人社・教育系(人)	070G7510	28	03	A
コア	自然と文明	2	講義	栗原 隆	人社・教育系(人)	070G3713	75	03	A
コア	地域環境論	2	講義	榎谷 圭司	自然科学系(工)	070T6082	32	03	A
コア	環境経済システム論Ⅱ	2	講義	藤堂 史明	人社・教育系(院現社)	070E1213	36	04	A
コア	自然環境関連法規	2	講義	中田 誠	自然科学系(院自然)	070A3307	62,65	03	A
コア	くらしと環境	2	講義	泉宮 尊司	自然科学系(工)	070G6046	53	03	B
コア	環境汚染論	2	講義	湯川 靖彦	自然科学系(理)	070S6030	57	05	B
コア	地盤環境論	2	講義	久保田 喜裕	自然科学系(理)	070S6031	44	04	B
コア	建築環境計画学	2	講義	赤林 伸一	自然科学系(院自然)	070T6054	53	03	B
コア	生産環境科学概論Ⅰ	2	講義	中野 和弘・他	自然科学系(院自然)	070A3001	65	02	B
コア	流域水文学	2	講義	飯田 俊彰	非常勤講師	070A3603	65	03	B
コア	土壌学概論	2	講義	野中 昌法	自然科学系(院技経)	070A2004	61	03	B
コア	森林政策学	2	講義	荒谷 明日兒	自然科学系(農)	070A1103	62	04	B
コア	環境保全型農業論	2	講義	平泉 光一	自然科学系(農)	070A1106	64	04	B
コア	生物学－生態A－	2	講義	山平 寿智	自然科学系(理)	070G6524	57	03	C
コア	多様性生物学A	2	講義	高橋 正道	自然科学系(理)	070S6016	57	04	C
コア	多様性生物学B	2	講義	酒泉 満	自然科学系(理)	070S6017	57	04	C
コア	生態学	2	講義	山平 寿智	自然科学系(理)	070S6015	57	04	C
コア	環境地質学A	2	講義	卜部 厚志・他	災害復興科学センター	070S5038	44	04	C
コア	気象学	2	講義	西村 浩一・他	自然科学系(理)	070S6013	44	04	C
コア	エネルギー変換論	2	講義	臼井 聡	自然科学系(理)	070S6027	46	04	C
コア	環境生物学野外実習C	1	実習	野崎 真澄	自然科学系(理)	070S6046	57	14	R*
コア	環境学実習	2	実習	三浦 慎悟・他	自然科学系(農FC)	070Q0002	99	04	R*
コア	環境学演習	2	演習	赤林 伸一	自然科学系(院自然)	070Q0003	99	05	R
関連	住環境科学Ⅰ	2	講義	五十嵐 由利子	人社・教育系(教育)	070K7204	15	04	B
関連	建築環境制御学Ⅱ	2	講義	赤林 伸一	自然科学系(院自然)	070T6056	53	04	B
関連	土木史	2	講義	大熊 孝	自然科学系(工)	070T6081	52	03	B
関連	海岸工学	2	講義	泉宮 尊司	自然科学系(工)	070T6032	52	04	B
関連	河川工学	2	講義	大熊 孝	自然科学系(工)	070T6079	52	04	B
関連	都市衛生施設工学	2	講義	高橋 敬雄	自然科学系(工)	070T6087	52	04	B
関連	土木計画学	2	講義	岩瀬 治	院自然(非常勤)	070T6080	52	03	B
関連	建築環境工学Ⅰ	2	講義	岩瀬 昭雄	自然科学系(工)	070T6051	53	03	B
関連	建築環境制御学Ⅰ	2	講義	岩瀬 昭雄	自然科学系(工)	070T6055	53	04	B
関連	酸性降下物化学	2	講義	中田 誠・他	自然科学系(院自然)	070A3706	46,62	04	B
関連	環境汚染物質化学	2	講義	野中 昌法	自然科学系(院技経)	070A2113	61	04	B
関連	肥料学	2	講義	大山 卓爾・他	自然科学系(農)	070A2106	61	04	B
関連	森林再生学	2	講義	紙谷 智彦	自然科学系(院自然)	070A3605	62	04	B
関連	Snow Hydrology	2	講義	三沢 真一・他	自然科学系(農)	070A3501	65	03	B
関連	食料環境工学	2	講義	中野 和弘	自然科学系(院自然)	070A3301	65	03	B
関連	農村計画	2	講義	有田 博之	自然科学系(農)	070A3507	65	03	B
関連	水環境工学	2	講義	三沢 真一	自然科学系(農)	070A3304	65	03	B
関連	新潟の地質・災害をさぐる	2	講義	卜部 厚志	災害復興科学センター	070G3703	75	03	C
関連	世界の自然災害	2	講義	青山 清道	災害復興科学センター	070G3223	75	03	C
関連	地球と気象	2	講義	檀上 篤徳	自然科学系(理)	070G6518	44	03	C
関連	機能形態学A	2	講義	林 八寿子	自然科学系(理)	070S6018	57	04	C
関連	機能形態学B	2	講義	濱口 哲	自然科学系(理)	070S6019	57	04	C
関連	第四紀環境変遷論	2	講義	卯田 強	自然科学系(理)	070S6011	44	04	C
関連	地形変動論	2	講義	山岸 宏光	自然科学系(理)	070S6012	44	04	C
関連	資源・環境論	2	講義	久保田 喜裕	自然科学系(理)	070S6010	44	04	C
関連	第四紀環境学	2	講義	立石 雅昭	自然科学系(理)	070S5037	44	04	C
関連	環境分析化学	2	講義	松岡 史郎	自然科学系(理)	070S6024	46	04	C
関連	保全生物学	2	講義	山平 寿智	自然科学系(理)	070S6022	57	05	C
関連	雪氷学	2	講義	和泉 薫	災害復興科学センター	070T6078	44	04	C
関連	地形・地質学	2	講義	卯田 強	自然科学系(理)	070T6077	44	03	C
関連	生産環境科学概論Ⅱ	2	講義	竹内 公男・他	自然科学系(農)	070A3002	62	02	C
関連	野生植物生態学	2	講義	紙谷 智彦・他	自然科学系(院自然)	070A3701	57	03	C
関連	保全生態学	2	講義	箕口 秀夫	自然科学系(農)	070A3303	57	03	C
関連	生態環境計測学	2	講義	村上 拓彦	自然科学系(農)	070A3705	57	04	C
関連	リモートセンシング	2	講義	阿部 信行	自然科学系(農)	070A3609	62	04	C
関連	応用国際関係論：環境と開発を巡る南北関係	2	講義	宮田 春夫	国際センター	070G3236	75	05	C
関連	環境政策学：日本の環境問題の歴史と政策の発展	2	講義	宮田 春夫	国際センター	070G3726	75	04	C

備考：Rは「必修科目」、Aは「人文社会・教育科学系科目」、Bは「工学系・農学系科目」、Cは「理学系・農学系科目」を表す。
*はどちらかの科目が必修であることを表す。

平成19年度 課題別副専攻

■テーマの名称「メディア・リテラシー」

副専攻の概要 各種メディアに媒介された情報伝達が加速的に増加しつつある今日、そのようなメディア情報に関する、的確な読み取り能力と適切な表現能力、すなわちリテラシーの習熟は、不可欠である。多岐化するメディアは多くの領域に跨っており、そのようなメディア・リテラシーは、したがって、文理各分野を横断的に学修することによってこそ、十全な習得が可能となる。この副専攻では、新潟大学各学部において取り組み始められている、メディア・リテラシー教育を連繫させることにより、そのような課題に応えた、学業を支援する。

副専攻のねらい さまざまなメディアの持つ技術的、社会的、文化的な特徴を理解した上で、それらのメディアを活用した情報の受容と表現に関する活動を、的確に行うことができるようになる。

副専攻の到達目標

1. 新聞、テレビ、映画などの代表的なマスメディアについて、それぞれの表現形態上の特徴、歴史的な背景、制度・産業・文化の各次元における基盤、現況で抱える諸問題について説明できる。
2. デジタル技術が導入されつつある今日及び今後のメディア状況について、基本的な知識をふまえて批判的に分析できる。
3. 受信・受容面のみではなく発信・表現面からみたメディアの様相について理解した上で、自ら実践することができる。
4. 代表的なメディア・テクノロジーについて理解し、適切に活用できる。

副専攻委員会委員 ○北村 順生
・古賀 豊
・石田 美紀

認定条件及び評価方法

- ・本副専攻プログラムが定めた授業科目から24単位以上を修得していること。
- ・卒業時の総修得単位数が、所属する学部の卒業要件単位数に12単位以上を加えたものであること。
- ・卒業時のGPAが2.5以上であること。
- ・当該学生が所属する主専攻課程（学科）に関わる科目のうち、副専攻科目として認定する単位は最大6単位とする。
- ・コア科目から必修科目を含む12単位以上の単位取得が必要である。
- ・履修に際しては、備考欄に記されているA、B、Cの科目区分からそれぞれ4単位以上の単位取得が必要である。なお、これらの区分は「メディア・リテラシー」から見た科目内容の区分であり、「A」は「理論・解釈」、「B」は「社会・制度」、「C」は「参加・実践」を表す。
- ・認定申請時に、所定のレポートを提出して合格すること。

分類	授業科目名	単位	形式	授業担当者	所属	講義番号	分野	水準	備考
コア	メディア表現行為論入門	1	演習	北村 順生	人社・教育系 (人)	070Q9004	10	03	R
コア	メディア表現行為論Ⅰ	2	演習	北村 順生	人社・教育系 (人)	070Q0005	10	04	A
コア	情報社会論	2	講義	竹内 照雄	自然科学系 (理)	070S1010	10	03	A
コア	メディア社会文化基礎論B	2	講義	北村 順生	人社・教育系 (人)	070H3103	10	03	A
コア	教育メディア論Ⅱ	2	講義	南部 昌敏	非常勤講師	070K6803	40	23	A
コア	メディア社会文化基礎論A	2	講義	古賀 豊	人社・教育系 (人)	070H3100	10	03	B
コア	表象文化基礎論A	2	講義	齋藤 陽一	人社・教育系 (人)	070H3104	10,29	03	B
コア	情報産業論	2	講義	石田 雅義	非常勤講師	070S1044	10	04	B
コア	マーケティング論Ⅰ	2	講義	未定	人社・教育系 (院技経)	070E3203	37	04	B
コア	メディア表現行為論Ⅱ	2	講義	宮尾 益治	非常勤講師	070Q0006	10	04	C
コア	デジタル表現論	2	講義	田中 環	自然科学系 (院自然)	070S1017	10	04	C
コア	コンピュータセキュリティ入門	2	講義	青山 茂義	総合情報処理センター	070G3517	10	03	C
コア	コンピュータネットワーク概論	2	講義	三河 賢治	総合情報処理センター	070G3516	10	03	C
関連	情報論B	2	講義	古賀 豊	人社・教育系 (人)	070H3244	10	04	A
関連	マス・メディア論	2	講義	吉田 和比古	人社・教育系 (法)	070G7560	35	03	A
関連	メディア社会文化論B	2	講義	北村 順生	人社・教育系 (人)	070H3250	10	04	A
関連	コンピュータへの招待	2	講義	仙石 正和	自然科学系 (工)	070G6039	10	03	A
関連	シアター	2	講義	齋藤 陽一	人社・教育系 (人)	070G3711	75	04	A
関連	基礎情報論	2	講義	齋藤 嘉文	非常勤講師	070G7501	10	03	A
関連	応用情報論	2	講義	未定	非常勤講師	070G7502	10	04	A
関連	人文社会情報論	2	講義	未定	未定	070G7519	10	04	A
関連	身体運動文化論	2	講義	篠田 邦彦	人社・教育系 (教)	070K7725	14	04	A
関連	新聞を通してみた社会	2	講義	塩沢 拓夫	非常勤講師	070G3221	75	03	B
関連	知的財産法	2	講義	渡邊 修	人社・教育系 (院実法)	070L1015	34	04	B
関連	法情報学	2	講義	鈴木 正朝	人社・教育系 (院実法)	070L1062	34	04	B
関連	日経新聞から見た経済	2	講義	濱田 弘潤	人社・教育系 (経)	070G7069	37	03	B
関連	GISリテラシー入門	2	講義	阿波村 稔	国際センター	070G3207	75	03	B
関連	科学・技術と社会	2	講義	竹内 照雄・他	自然科学系 (理)	070S0004	16	03	B
関連	科学技術者の倫理	2	講義	丸山 武男	自然科学系 (工)	070G6041	16	03	B
関連	映像文化論B	2	講義	石田 美紀	人社・教育系 (人)	070H3260	10,28	04	B
関連	情報社会と職業	2	講義	加藤 孝	非常勤講師	070T2072	10,28	04	B
関連	特殊講義 (メディアと政治)	2	講義	谷 喬夫	人社・教育系 (院実法)	070G7556	35	03	B
関連	メディア表現行為論Ⅲ	2	実習	北村 順生	人社・教育系 (人)	070Q0019	10	04	C
関連	新聞を体験する - 新潟日報との連携授業 -	2	演習	北村 順生	人社・教育系 (人)	070G3725	75	03	C
関連	UNIXリテラシー演習	2	演習	三河 賢治	総合情報処理センター	070G3519	10	03	C
関連	新潟学 - 新潟まつり編 -	2	演習	加藤 かおり	大学教育開発研究センター	070G3216	75	03	C
関連	新潟学 - ファシリテーター編 -	4	演習	加藤 かおり	大学教育開発研究センター	070G3708	75	03	C
関連	ミュージアム論	2	講義	池田 哲夫	人社・教育系 (人)	070H3184	16	04	C
関連	異文化コミュニケーションA	2	演習	柴田 幹夫	国際センター	070G3708	75	03	C
関連	異文化コミュニケーションB	2	演習	池田 英喜	国際センター	070G3716	75	03	C
関連	留学生と学ぶ日本の企業文化	2	演習	阿波村 稔	国際センター	070G3232	75	03	C
関連	芸術ソフト開発	2	演習	清水 研作	人社・教育系 (教)	070K8206	13	14	C
関連	文学とコミュニティ	2	講義	堀 竜一	人社・教育系 (教)	070K8207	29	04	C
関連	コンピュータ音楽Ⅰ	2	演習	清水 研作	人社・教育系 (教)	070K6234	13	12	C
関連	コンピュータ音楽Ⅱ	2	演習	清水 研作	人社・教育系 (教)	070K6235	13	12	C
関連	デザイン論	2	講義	橋本 学	人社・教育系 (教)	070G7048	13	03	C
関連	デジタル表現実習	1	実習	田中 環	自然科学系 (院自然)	070S1018	10	13	C
関連	生活空間デザイン論	2	講義	橋本 学	人社・教育系 (教)	070K8704	13	04	C

備考：Rは「必修科目」、Aは「理論・解釈」、Bは「社会・制度」、Cは「参加・実践」を表す。

平成19年度 課題別副専攻

■テーマの名称「MOT 基礎(特許・経営及び製品開発基礎コース)」

副専攻の概要 組織経営と技術開発の両分野は、現代の日進月歩の企業社会において、大変重要な中枢部分を形成しており、両分野とも互いの基礎知識を有する人材確保を必要条件としている。そのような状況を背景として、本カリキュラムは、経済・法・理・工・農などの各分野で開設されている科目と新しく開設する科目とを活用することで、技術経営の基礎を修得できることを目的とした副専攻である。

副専攻のねらい

- ・特許取得に関わる手続きや方法を学ぶことで、特許取得に必要な専門知識が多様であることを理解する。
- ・各自の主専攻も他学部・他学科の開講科目の多くと密接に関連していることを理解する。
- ・特許やその申請に対して理解を深めることで、特許の必要性・重要性を習得する。

副専攻の到達目標

1. 法律・技術・経営の知識を融合し、それぞれを有機的に活用することで、理系・文系の両面からの思考ができる。
2. ビジネス分野への貢献ができるようになる。
3. 将来の「MOT」関係の修得の基礎が身に付く。

副専攻委員会委員 ○今泉 洋
・永山 庸男
・丸山 武男

認定条件及び評価の方法

- ・本副専攻プログラムが定めた授業科目から24単位以上を修得していること。
- ・卒業時の総修得単位数が、所属する学部の卒業要件単位数に12単位以上を加えたものであること。
- ・卒業時のGPAが2.5以上であること。
- ・当該学生が所属する主専攻課程(学科)に関わる科目のうち、副専攻科目として認定する単位は最大6単位とする。
- ・コア科目から必修科目を含む12単位以上の単位取得が必要である。
- ・コア科目は、R科目1単位、A科目群(必修2単位を含む)およびB科目群それぞれ4単位以上の単位取得が必要である。
- ・コア科目と関連科目(C科目)を合わせて、所属学部開講科目以外の科目を10単位以上取得する必要がある。
- ・R科目「特許・経営および製品開発入門」を最初に履修することが望ましい。
- ・履修条件欄*1~*6は以下の履修順序の指定があることを示す。
 - *1 民法法基礎ⅠおよびⅡを修得済みであること。
 - *2 民法法基礎Ⅰ、ⅡおよびⅢを修得済みであること。
 - *3 経営戦略論Ⅰを修得済みであること。
 - *4 マーケティング論Ⅰを修得済みであること。
 - *5 国際企業論Ⅰを修得済みであること。
 - *6 ファイナンスⅠを修得済みであること。

分類	授業科目名	単位	形式	授業担当者	所属	講義番号	分野	水準	備考
コア	特許・経営および製品開発入門	1	演習	今泉 洋・他	自然科学系(工)	070Q9007	99	03	R
コア	特許と技術経営Ⅰ	1	演習	吉井 雅栄	非常勤講師	070Q0008	99	04	A(必修)
コア	特許と技術経営Ⅱ	1	演習	屋代 順治郎	非常勤講師	070Q0009	99	04	A(必修)
コア	民法法基礎Ⅰ	2	講義	石畝 剛士	人社・教育系(法)	070G7054	34	03	A
コア	民法法基礎Ⅱ	2	講義	石畝 剛士	人社・教育系(法)	070G7545	34	03	A
コア	民法法基礎Ⅲ	2	講義	神戸 秀彦	人社・教育系(法)	070G7055	34	03	A*1
コア	経営戦略論Ⅰ	2	講義	高山 誠	人社・教育系(院技経)	070E3100	37	04	A
コア	マーケティング論Ⅰ	2	講義	未定	人社・教育系(院技経)	070E3203	37	04	A
コア	国際企業論Ⅱ	2	講義	永山 庸男	人社・教育系(院技経)	070E3305	37	04	A
コア	ファイナンスⅠ	2	講義	齋藤 達弘	人社・教育系(院技経)	070E3201	37	04	A
コア	情報管理学	2	講義	蛭川 潤一	自然科学系(理)	070S1038	10	04	B
コア	情報統計学	2	講義	蛭川 潤一	自然科学系(理)	070S1039	41	04	B
コア	情報計画システムⅠ	2	講義	山田 修司	自然科学系(院自然)	070S1042	10	05	B
コア	情報計画システムⅡ	2	講義	山田 修司	自然科学系(院自然)	070S1043	10	05	B
コア	エレクトロニクスへの招待	2	講義	小椋 一夫	自然科学系(工)	070G6044	51	03	B
コア	コンピュータへの招待	2	講義	仙石 正和	自然科学系(工)	070G6039	10	03	B
コア	高福祉社会を支える「生活支援工学」入門	2	講義	林 豊彦	自然科学系(工)	070G6040	56	03	B
コア	生活を支える化学技術-化学工学への招待-	2	講義	田中 真人	自然科学系(工)	070G6043	47	03	B
コア	くらしと環境	2	講義	泉宮 尊司	自然科学系(工)	070G6046	53	03	B
コア	農業経営戦略論	2	講義	平泉 光一	自然科学系(農)	070A1142	64	05	B
コア	生命と環境の化学Ⅰ	2	講義	大山 卓爾	自然科学系(農)	070G6047	46	03	B
コア	生命と環境の化学Ⅱ	2	講義	星野 力	自然科学系(農)	070G6539	46	03	B
コア	くらしと微生物	2	講義	堀 秀隆	自然科学系(院自然)	070G6541	61	03	B
関連	知的財産法Ⅰ	2	講義	渡邊 修	人社・教育系(院実法)	070L0015	34	04	C*2
関連	企業法Ⅰ	2	講義	山田 剛志	人社・教育系(法)	070L1005	34	04	C*2
関連	企業法Ⅱ	2	講義	岡田 昌浩	人社・教育系(法)	070L1006	34	04	C*2
関連	独占禁止法	2	講義	澤田 克己	人社・教育系(院実法)	070L1013	34	04	C*2
関連	経営戦略論Ⅰ	2	講義	高山 誠	人社・教育系(院技経)	070E3100	37	04	C*3
関連	マーケティング論Ⅱ	2	講義	未定	人社・教育系(院技経)	070E3204	37	04	C*4
関連	国際企業論Ⅱ	2	講義	永山 庸男	人社・教育系(院技経)	070E3305	37	04	C*5
関連	ファイナンスⅡ	2	講義	齋藤 達弘	人社・教育系(院技経)	070E3202	37	04	C*6
関連	情報社会論	2	講義	竹内 照雄	自然科学系(理)	070S1010	10	03	C
関連	計算機概論	2	講義	竹内 照雄	自然科学系(理)	070S1008	10	03	C
関連	プログラミング概論	2	講義	竹内 照雄	自然科学系(理)	070S1011	10	03	C
関連	計算システム	2	講義	山田 修司	自然科学系(院自然)	070S1013	10	04	C
関連	デジタル表現論	2	講義	田中 環	自然科学系(院自然)	070S1017	10	04	C
関連	情報産業論	2	講義	石田 雅義	非常勤講師	070S1044	10	04	C
関連	工業力学	2	講義	岩部 洋育	自然科学系(工)	070T1038	49,43	04	C
関連	材料力学Ⅰ	2	講義	原 利昭	自然科学系(工)	070T1009	50	04	C
関連	材料力学Ⅱ	2	講義	田邊 裕治	自然科学系(工)	070T1010	50	04	C
関連	機構学	2	講義	大矢 誠	自然科学系(工)	070T1037	50	04	C
関連	電気回路Ⅰ	2	講義	渡邊 弘道	自然科学系(工)	070T2036	51	04	C
関連	電気回路Ⅱ	2	講義	菅原 晃	自然科学系(工)	070T2037	51	04	C
関連	電気回路Ⅲ	2	講義	渡邊 弘道	自然科学系(工)	070T2038	51	04	C
関連	電気回路Ⅳ	2	講義	新保 一成	自然科学系(工)	070T2039	51	04	C
関連	電磁気学Ⅰ	2	講義	清水 英彦・他	自然科学系(工)	070T2045	51	04	C
関連	電磁気学Ⅱ	2	講義	小川 純・他	自然科学系(院自然)	070T2046	51	04	C
関連	電子回路	2	講義	牧野 秀夫	自然科学系(工)	070T3060	51	04	C
関連	論理回路	2	講義	中野 敬介	自然科学系(工)	070T2053	51	04	C
関連	電気回路Ⅰ	2	講義	前田 義信	自然科学系(工)	070T4037	51	24	C
関連	化学プロセス概論	2	講義	山際 和明	自然科学系(院自然)	070T5049	55	04	C
関連	分析化学	2	講義	今泉 洋	自然科学系(工)	070T5052	47	04	C
関連	基礎有機化学	2	講義	萩原 久大	自然科学系(院自然)	070T5005	47	03	C
関連	基礎無機化学	2	講義	佐藤 峰夫	自然科学系(工)	070T5006	47	03	C
関連	日本建築史	2	講義	黒野 弘靖	自然科学系(工)	070T6040	53	03	C
関連	土木史	2	講義	大熊 孝	自然科学系(工)	070T6081	52	03	C
関連	水環境工学	2	講義	三沢 眞一	自然科学系(農)	070A3304	65	03	C
関連	食料環境工学	2	講義	中野 和弘	自然科学系(院自然)	070A3301	65	03	C
関連	保全生態学	2	講義	箕口 秀夫	自然科学系(農)	070A3303	57	03	C
関連	森林土木学	2	講義	川邊 洋・他	自然科学系(農)	070A3203	62	03	C
関連	電気回路基礎論	2	講義	小林 敏志	自然科学系(工)	070T7009	54	04	C
関連	基礎高分子化学	2	講義	山内 健	自然科学系(院自然)	070T7013	54	04	C
関連	基礎生物化学	2	講義	谷口 正之	自然科学系(工)	070T7014	54	04	C

備考：Rは「必修科目」、Aは「文系科目として必要な科目群」、Bは「理系科目として必要な科目群」、Cは「A、Bと関連した発展科目群」を表す。

平成19年度 課題別副専攻

■テーマの名称「芸術学」

副専攻の概要 芸術は時代ごとの価値観を表出し、人文系諸科学の背景ともなっている。また私たちの生活を潤し、内面を豊かにしてくれる精神生活の精華でもある。この副専攻では、人文学部・教育人間科学部・農学部・工学部などの人的資源を活用することによって、感性による鑑賞の対象としてだけではなく、学問の対象として芸術を掘え直すことを通し、精神文化・造形文化の成り立ちを明らかにしつつ、人生をより豊かにするプログラムを提供する。

副専攻のねらい 様々な授業を通して、芸術一般に関する知識を得、また感性を育て、芸術が人間の生活にとってどのような価値を持っているかを認識できるようにする。また、そうして養った感性と知識によって、芸術作品に接した時に、その作品の客観的な価値づけを、自分の言葉で表現できるように目指す。

副専攻の到達目標

1. 芸術史について広く基本的な見識を有し、また芸術学の基礎理論に通じるようになること。
2. また、それを通して、芸術作品一般に対して一定の客観性を持った見解を述べられるようになること。
3. 特定の芸術分野に関して、専門家に準ずる知識を有し、その分野の作品について独自の見解を発表できるようにすること。

副専攻委員会委員 ○荻 美津夫
・武田 光一
・広部 俊也

認定条件及び評価の方法

- ・本副専攻プログラムが定めた授業科目から24単位以上を修得していること。
- ・卒業時の総修得単位数が、所属する学部の卒業要件単位数に12単位以上を加えたものであること。
- ・卒業時のGPAが2.5以上であること。
- ・当該学生が所属する主専攻課程（学科）に関わる科目のうち、副専攻科目として認定する単位は最大6単位とする。
- ・コア科目から必修科目を含む12単位以上の単位取得が必要である。
- ・「芸術学実習」は、すでに「本副専攻プログラムが定めた授業科目」から20単位以上を修得している者のみ履修可能である。
- ・到達度を最終的に測るため、「芸術学実習」の履修時にレポート提出、あるいは作品の発表を課す。
- ・コア科目のうち、A、B、Cに区分された科目から、それぞれ少なくとも1科目は修得するものとする。
- ・原則として、教育人間科学部芸術環境創造課程の学生については、本コースカリキュラムによる副専攻認定は行わない。

分類	授業科目名	単位	形式	授業担当者	所属	講義番号	分野	水準	備考
コア	芸術学入門	1	演習	廣部 俊也	人社・教育系(人)	070Q9010	13	03	R
コア	東洋美術史AⅠ	2	講義	武田 光一	人社・教育系(教)	070G7041	13	03	A
コア	東洋美術史AⅡ	2	講義	武田 光一	人社・教育系(教)	070G7531	13	03	A
コア	基礎芸術学	2	講義	近藤 フヂエ	人社・教育系(教)	070K8601	13	04	A
コア	日本・東洋美術史	2	講義	武田 光一	人社・教育系(教)	070K1809	13	04	A
コア	西洋美術史	2	講義	近藤 フヂエ	人社・教育系(教)	070K1810	13	04	A
コア	芸術と概念	2	講義	横坂 康彦	人社・教育系(教)	070K8102	13	11	A
コア	美術批評論	2	講義	近藤 フヂエ	人社・教育系(教)	070K8707	13	12	A
コア	芸術文化論	2	講義	田中 幸治	人社・教育系(教)	070K8101	13	11	B
コア	比較芸術学	2	講義	武田 光一	人社・教育系(教)	070K9001	13	04	B
コア	比較造形論	2	講義	武田 光一	人社・教育系(教)	070K8612	13	04	B
コア	造形表現論	2	講義	郷 晃	人社・教育系(教)	070G7047	13	03	B
コア	日本芸能文化論A	2	講義	荻 美津夫	人社・教育系(人)	070H3179	31	14	B
コア	日本古典文学D	2	講義	吉原 理恵子	非常勤講師	070G7029	29	03	B
コア	日本古典文学K	2	講義	廣部 俊也	人社・教育系(人)	070G7030	29	03	B
コア	日本古典文学F	2	講義	錦 仁	人社・教育系(院現社)	070G7517	29	03	B
コア	日本古典文学L	2	講義	三塚 貴	人社・教育系(教)	070G7540	29	03	B
コア	現代文化論A	2	講義	逸見 龍生	人社・教育系(人)	070H3251	10,29	04	B
コア	現代文化論B	2	講義	福沢 榮司	人社・教育系(人)	070H3252	10,29	04	B
コア	造園学	2	講義	小林 達明	非常勤講師	070A3803	62,60	14	C
コア	映像文化論B	2	講義	石田 美紀	人社・教育系(人)	070H3260	10,28	04	C
コア	都市・地域設計論Ⅱ	2	講義	樋口 忠彦	非常勤講師	070T6049	53	04	C
コア	都市・地域設計論Ⅰ	2	講義	岡崎 篤行	自然科学系(工)	070T6048	53	04	C
コア	デザイン論	2	講義	橋本 学	人社・教育系(教)	070G7048	13	03	C
コア	インテリアデザイン	2	講義	五十嵐 由利子	人社・教育系(教)	070K7526	15	05	C
コア	絵画	2	演習	黒野 弘靖	自然科学系(工)	070T6076	53	13	C
コア	書鑑賞論	2	演習	未定	人社・教育系(教)	070K9004	13	04	C
コア	芸術学実習	1	演習	廣部 俊也	人社・教育系(人)	070Q0011	13	04	R
関連	書道芸術A	2	講義	岡村 浩	人社・教育系(教)	070G7045	13	03	
関連	書道講義及び実習Ⅰ	2	講義	未定	人社・教育系(教)	070K5445	30	13	
関連	住環境科学Ⅰ	2	講義	五十嵐 由利子	人社・教育系(教)	070K7204	15	04	
関連	被服環境学	2	講義	中村 和吉	人社・教育系(教)	070K7202	15	04	
関連	考える書の冒険	2	講義	井山 弘幸	人社・教育系(人)	070G3710	75	03	
関連	シアター	2	講義	齋藤 陽一	人社・教育系(人)	070G3711	75	04	
関連	日本文化論演習B	2	講義	廣部 俊也	人社・教育系(人)	070G7514	29	03	
関連	文学A	2	講義	先田 進	人社・教育系(人)	070G7010	29	03	
関連	文学D	2	講義	番場 俊	人社・教育系(人)	070G7508	29	03	
関連	能楽の世界ー歴史と文学ー	2	講義	荻 美津夫	人社・教育系(人)	070G7005	29	03	
関連	日本文化論	2	講義	岡村 浩	人社・教育系(教)	070G7040	13	03	
関連	生活空間デザイン論	2	講義	橋本 学	人社・教育系(教)	070K8704	13	04	
関連	詩作演習	2	講義	先田 進	人社・教育系(人)	070G7009	29	03	
関連	日本近代文学C	2	講義	堀 竜一	人社・教育系(教)	070G7046	29	03	
関連	文芸批評論Ⅱ	2	講義	先田 進	人社・教育系(人)	070G7006	29	04	
関連	音楽D	2	講義	松本 彰	人社・教育系(人)	070G7031	13	03	
関連	音楽E	2	講義	清水 研作	人社・教育系(教)	070G7042	13	03	
関連	音楽F	2	講義	横坂 康彦	人社・教育系(教)	070G7532	13	03	
関連	表象文化論A	2	講義	佐々木 充	人社・教育系(人)	070H3253	10,28	04	
関連	表象文化論B	2	講義	番場 俊	人社・教育系(人)	070H3254	10,29	04	
関連	多文化音楽論Ⅰ	2	講義	荻 美津夫	人社・教育系(人)	070K6213	13	04	
関連	多文化音楽論Ⅱ	2	講義	荻 美津夫	人社・教育系(人)	070K8306	13	04	
関連	日本建築史	2	講義	黒野 弘靖	自然科学系(工)	070T6040	53	03	
関連	都市計画学Ⅰ	2	講義	岡崎 篤行	自然科学系(工)	070T6046	53	03	
関連	都市計画学Ⅱ	2	講義	岡崎 篤行	自然科学系(工)	070T6047	53	04	

備考：Aは「理論・歴史に関する基礎科目」、Bは「芸術の主要各分野に関する科目」、Cは「その他の分野に関する基礎科目」、空欄科目は「発展的・実践的科目」を表す。

平成19年度 課題別副専攻

■テーマの名称「文化財学」

副専攻の概要 近年、文化財・文化遺産については、人文科学系の知識のほかに、その分析・保存・活用に自然科学系の知識が要求されている。また、保存においては法的整備も望まれている。ここでは、文化財学の初歩から応用にわたって構成されている人文系学部開設科目と自然科学学部開設科目を活用し、文理融合による学際的な文化財科学の理解と知識を高めるプログラムを提供する。

副専攻のねらい 文化財保存・保護に関する基礎的事項を理解し、博物館学芸員などの文化財に関わる専門職として必要な基本的かつ専門的知識・技術を習得する。

副専攻の到達目標

1. 文化財についての総合的な理解を図り、その保存・活用の方策を考えることができる。
2. 博物館学芸員として必要な基本的かつ専門的知識・技能をふまえて、文化財の保存・活用に関わる作業をすることができる。
3. 博物館の意義・業務に関して基本的な説明をすることができる。
4. 文化財保護全般に対して基本的な説明をすることができる。
5. 世界文化遺産についての基本的な説明をすることができる。

副専攻委員会委員

- 橋本 博文
- ・池田 哲夫
- ・飯島 康夫
- ・菊地 真

認定条件及び評価の方法

- ・本副専攻プログラムが定めた授業科目から24単位以上を修得していること。
- ・卒業時の総修得単位数が、所属する学部の卒業要件単位数に12単位以上を加えたものであること。
- ・卒業時のGPAが2.5以上であること。
- ・当該学生が所属する主専攻課程（学科）に関わる科目のうち、副専攻科目として認定する単位は最大6単位とする。
- ・コア科目から必修科目を含む12単位以上の単位取得が必要である。
- ・科目、関連科目のうち、A、Bに区分された科目から、それぞれ少なくとも1科目は修得するものとする。
- ・認定申請時に、所定のレポートを提出して合格すること。

分類	授業科目名	単位	形式	授業担当者	所属	講義番号	分野	水準	備考
コア	文化財学入門	1	演習	橋本 博文	人社・教育系 (人)	070Q9012	16	03	R
コア	博物館概論	2	講義	池田 哲夫	人社・教育系 (人)	070H3066	16	23	A
コア	博物館経営・情報論	2	講義	飯島 康夫	人社・教育系 (人)	070H3181	16	24	A
コア	博物館資料論	2	講義	池田 哲夫	人社・教育系 (人)	070H3182	16	24	A
コア	考古学概説A	2	講義	橋本 博文	人社・教育系 (人)	070H3058	31	03	A
コア	考古学概説B	2	講義	菊地 真	人社・教育系 (人)	070H3059	31	03	A
コア	考古学特殊研究B	2	講義	菊地 真	人社・教育系 (人)	070H3170	31	14	A
コア	考古学特殊研究C	2	講義	高橋 龍三郎	非常勤講師	070H3171	31	14	A
コア	考古学特殊研究D	2	講義	橋本 博文	人社・教育系 (人)	070H3172	31	14	A
コア	民俗学概説A	2	講義	飯島 康夫	人社・教育系 (人)	070H3064	33	03	A
コア	民俗学概説B	2	講義	飯島 康夫	人社・教育系 (人)	070H3065	33	03	A
コア	民俗学特殊研究A	2	講義	池田 哲夫	人社・教育系 (人)	070H3175	33	14	A
コア	民俗学特殊研究D	2	講義	飯島 康夫	人社・教育系 (人)	070H3178	33	14	A
コア	東洋美術史AⅠ	2	講義	武田 光一	人社・教育系 (教)	070G7041	13	03	A
コア	東洋美術史AⅡ	2	講義	武田 光一	人社・教育系 (教)	070G7531	13	03	A
コア	伝統文化保存論	2	講義	石坂 妙子	人社・教育系 (教)	070K8209	29	04	A
コア	古文書学概説A	2	講義	矢田 俊文	人社・教育系 (人)	070H3056	31	03	A
コア	地域社会文化演習	2	演習	橋本 博文	人社・教育系 (人)	070H3434	31,32	14	A
コア	書道芸術A	2	講義	岡村 浩	人社・教育系 (教)	070G7045	13	03	A
コア	ミュージアム論	2	講義	池田 哲夫	人社・教育系 (人)	070H3184	16	04	A
コア	文化財保存科学	2	実習	鈴木稔・三ツ井朋子	非常勤講師	070Q0013	16	04	R
コア	文化財保護論	2	講義	十菱 駿武	非常勤講師	070Q0014	16	04	R
コア	史跡整備	2	講義	飛田 範夫	非常勤講師	070Q0015	16	04	R
コア	日本建築史	2	講義	黒野 弘靖	自然科学系 (工)	070T6040	53	03	B
コア	都市・地域設計論Ⅰ	2	講義	岡崎 篤行	自然科学系 (工)	070T6048	53	04	B
関連	環境地質学A	2	講義	卜部 厚志・他	災害復興科学センター	070S5038	44	04	B
関連	土木史	2	講義	大熊 孝	自然科学系 (工)	070T6081	52	03	B
関連	新潟地域の歴史的研究	2	講義	小林 昌二	人社・教育系 (院現社)	070G3709	75	03	A
関連	新潟学—地域編—	2	講義	池田 哲夫	人社・教育系 (人)	070G3217	75	03	A
関連	日本古典文献実習A	1	実習	鈴木 孝庸	人社・教育系 (人)	070H3284	29	13	A
関連	日本古典文献実習B	1	実習	廣部 俊也	人社・教育系 (人)	070H3285	29	13	A
関連	地学E (地球理解の諸相)	2	講義	栗田 裕司	自然科学系 (理)	070G6528	44	03	B
関連	西洋美術の伝統と現代	2	講義	近藤 フヂエ	人社・教育系 (教)	070K8608	13	04	A
関連	日本・東洋美術の展開	2	講義	武田 光一	人社・教育系 (教)	070K8607	13	04	A
関連	能楽の世界—歴史と文学—	2	講義	荻 美津夫	人社・教育系 (人)	070G7005	29	03	A
関連	都市計画学Ⅰ	2	講義	岡崎 篤行	自然科学系 (工)	070T6046	53	03	B
関連	都市計画学Ⅱ	2	講義	岡崎 篤行	自然科学系 (工)	070T6047	53	04	B
関連	新潟の地質・災害をさぐる	2	講義	卜部 厚志	災害復興科学センター	070G3703	75	03	B

備考：Rは「必修科目」、Aは「人文科学系科目」、Bは「自然科学系科目」を表す。

平成19年度 課題別副専攻

■テーマの名称「外国語（ドイツ語）」

副専攻の概要	ドイツ語の高度な実践的運用能力を涵養する。E U域内の有力言語であるドイツ語に習熟することで、グローバル化する世界に複眼的な情報処理能力をもって対応できるようにする。
副専攻のねらい	ドイツ語の修得に当たっては、言語能力の向上のみを自己目的とするのではなく、併せてドイツの政治、経済、社会、文化など様々な分野への知見を深める。
副専攻の到達目標	標準的なドイツ語を使いこなせ、ドイツ語圏の国々における日常生活に対応できる。また専門書、新聞など辞書を用いて活用できる(ドイツ語技能検定試験2級レベル)。
認定条件及び評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・本副専攻プログラムが定めた授業科目から24単位以上を修得していること。 ・卒業時の総修得単位数が、所属する学部卒業要件単位数に12単位以上を加えたものであること。 ・卒業時のGPAが2.5以上であること。 ・当該学生が所属する主専攻課程(学科)に関わる科目のうち、副専攻科目として認定する単位は最大6単位とする。 ・コア科目から必修科目を含む18単位以上の単位取得が必要である。 ・備考欄A群(中級レベル)の科目から6単位以上、B群(上級レベル)の科目から4単位以上の取得が必要である。
	副専攻委員会委員 ○金子 一郎 ・福澤 榮司 ・木村 豊

分類	授業科目名	単位	形式	授業担当者	所属	講義番号	分野	水準	備考
コア	ドイツ学研究法	1	演習	小林リリ子・金子一郎	非常勤講師	070Q9017	71	03	R
コア	時事ドイツ語	1	演習	木村 豊	人社・教育系(人)	070Q0018	71	03	B
コア	外国語ベーシック(独・仏・チェコ)	2	講義	金子 一郎・他	人社・教育系(人)		71	03	
コア	外国語ベーシック(独・西・伊)	2	講義	木村 豊・他	人社・教育系(人)		71	03	
コア	外国語ベーシック(独・仏・エスペラント)	2	講義	宮内 俊至・他	人社・教育系(法)		71	03	
コア	ドイツ語ベーシックⅡ	3	演習	畑志 津子・他	非常勤講師		71	03	
コア	ドイツ語スタンダードⅠ／Ⅱ	3	演習	福澤 榮司・他	人社・教育系(人)		71	03	
コア	ドイツ語インテンシブⅠ／Ⅱ	4	演習	桑原 聡・他	人社・教育系(人)		71	03	
コア	コミュニケーション・ドイツ語A	2	演習	金子 一郎	人社・教育系(人)	070G1031	71	03	A
コア	コミュニケーション・ドイツ語B	2	演習	A. ホップ	大学教育開発研究センター	070G1032	71	03	A
コア	コミュニケーション・ドイツ語C	2	演習	A. ホップ	大学教育開発研究センター	070G1033	71	03	A
コア	コミュニケーション・ドイツ語E	2	演習	金子 一郎	人社・教育系(人)	070G1525	71	03	A
コア	コミュニケーション・ドイツ語F	2	演習	A. ホップ	大学教育開発研究センター	070G1526	71	03	A
コア	コミュニケーション・ドイツ語G	2	演習	A. ホップ	大学教育開発研究センター	070G1527	71	03	A
コア	ドイツ語セミナーA	2	演習	桑原 聡	人社・教育系(人)	070G1034	71	04	B
コア	ドイツ語セミナーB	2	演習	桑原 聡	人社・教育系(人)	070G1528	71	04	B
コア	ヨーロッパ言語概説A	2	講義	並木 宏	人社・教育系(人)	070H3083	30	03	
コア	ヨーロッパ言語概説B	2	講義	並木 宏	人社・教育系(人)	070H3084	30	03	
コア	ヨーロッパ言語論A	2	講義	並木 宏	人社・教育系(人)	070H3217	30	04	
コア	ヨーロッパ文化論A	2	講義	A. ホップ	大学教育開発研究センター	070H3220	29	04	B
コア	ヨーロッパ文化論B	2	講義	A. ホップ	大学教育開発研究センター	070H3221	29	04	B
コア	海外研修	※	実習			070Q0020	71	04	B
関連	人間学特殊研究A	2	講義	城戸 淳	人社・教育系(人)	070H3112	28	04	
関連	ヨーロッパ文化入門A	2	講義	金子 一郎	人社・教育系(人)	070H3015	29	03	
関連	ヨーロッパ文芸論A	2	講義	木村 豊	人社・教育系(人)	070H3212	29	04	
関連	現代文化論B	2	講義	福沢 榮司	人社・教育系(人)	070H3252	10,29	04	
関連	マス・メディア論	2	講義	吉田 和比古	人社・教育系(法)	070L1054	35,38	03	
関連	西洋近代政治史	2	講義	宮内 俊至	人社・教育系(法)	070L0049	35	03	
関連	西洋文化史特殊研究	2	講義	細田 あや子	人社・教育系(人)	070H3231	31	14	
関連	西洋地域史特殊研究A	2	講義	細田 あや子	人社・教育系(人)	070H3238	31	14	
関連	西洋社会史特殊研究A	2	講義	松本 彰	人社・教育系(人)	070H3233	31	14	
関連	音楽実践指導論B	2	講義	松浦 良治	人社・教育系(教)	070K8414	13	11	
関連	音楽実践指導論B	2	講義	松浦 良治	人社・教育系(教)	070K8415	13	11	
関連	音楽楽曲研究B	2	講義	松浦 良治	人社・教育系(教)	070K8522	13	12	
関連	音楽楽曲研究B	2	講義	松浦 良治	人社・教育系(教)	070K8522	13	12	
関連	集団音楽活動論B	2	講義	松浦 良治	人社・教育系(教)	070K8419	13	12	
関連	集団音楽活動論B	2	講義	松浦 良治	人社・教育系(教)	070K8419	13	12	
関連	ヨーロッパ事情A	2	講義	金子 一郎	人社・教育系(人)	070H3226	29	04	
関連	人間学基礎演習B	2	演習	城戸 淳	人社・教育系(人)	070H3343	28,30	13	
関連	人間学演習	2	演習	栗原 隆	人社・教育系(人)	070H3390	28,30	14	
関連	人間学演習	2	演習	栗原 隆	人社・教育系(人)	070H3391	28,30	14	
関連	人間学演習	2	演習	城戸 淳	人社・教育系(人)	070H3392	28,30	14	
関連	人間学演習	2	演習	城戸 淳	人社・教育系(人)	070H3393	28,30	14	
関連	法政演習(西欧政治研究Ⅰ2007Ⅰ)	2	演習	宮内 俊至	人社・教育系(法)	070L0232	35	14	
関連	法政演習(西欧政治研究Ⅰ2007Ⅱ)	2	演習	宮内 俊至	人社・教育系(法)	070L0233	35	14	
関連	ヨーロッパ文化基礎演習A	2	演習	木村 豊	人社・教育系(人)	070H3364	29,30	13	
関連	ヨーロッパ文化基礎演習B	2	演習	木村 豊	人社・教育系(人)	070H3365	29,30	13	
関連	ヨーロッパ文化研究法A	2	演習	桑原 聡	人社・教育系(人)	070H3315	29	13	
関連	西洋歴史文化基礎演習A	2	演習	松本 彰	人社・教育系(人)	070H3370	31	13	
関連	西洋歴史文化基礎演習B	2	演習	松本 彰	人社・教育系(人)	070H3371	31	13	
関連	西洋歴史文化演習	2	演習	高橋 秀樹	人社・教育系(人)	070H3492	31	14	
関連	西洋歴史文化演習	2	演習	高橋 秀樹	人社・教育系(人)	070H3492	31	14	
関連	文化コミュニケーション基礎論B	2	演習	福沢 榮司	人社・教育系(人)	070H3103	10,29	13	
関連	ドイツ文化演習	2	演習	木村 豊	人社・教育系(人)	070H3480	29	14	
関連	ドイツ文化演習	2	演習	並木 宏	人社・教育系(人)	070H3481	29	14	
関連	ドイツ文化演習	2	演習	桑原 聡	人社・教育系(人)	070H3482	29	14	
関連	ドイツ文化演習	2	演習	金子 一郎	人社・教育系(人)	070H3483	29	14	

※海外研修については、当該教育施設及び教育課程を審査の上、単位を認めることがある。

備考：Rは「必修科目」、Aは「中級レベル科目」、Bは「上級レベル科目」を表す。

平成19年度 課題別副専攻

■テーマの名称「外国語（英語）」

副専攻の概要 大学4年間のうちに、各学部やコースにおいて使用されている多様な英語を学習することによって、社会の様々な分野で要求される英語の実践的能力を養う。

副専攻のねらい このコースでは、多様なジャンルの英語を読み、聞き、話し、書くことができる英語の実践的能力を育成することをねらいとする。

副専攻の到達目標

- ・ 通常会話をほぼ完全に理解でき、応答できる。
- ・ 辞書をほとんど用いずに読むことができる。
- ・ 文法的に正確な文章を書く事ができる。

(TOEICテストの750点相当の能力)

副専攻委員会委員

- 辻 照彦
- ・佐々木 充
- ・高橋 康浩
- ・松沢 伸二

認定条件及び評価方法

- ・ 本副専攻プログラムが定めた授業科目から24単位以上を修得していること。
- ・ 卒業時の総修得単位数が、所属する学部の卒業要件単位数に12単位以上を加えたものであること。
- ・ 卒業時のGPAが2.5以上であること。
- ・ 当該学生が所属する主専攻課程（学科）に関わる科目のうち、副専攻科目として認定する単位は最大6単位とする。
- ・ コア科目からR科目およびC科目を含む12単位以上の単位取得が必要である。
- ・ 副専攻委員会の定めた最終認定試験に合格することが必要である。

分類	授業科目名	単位	形式	授業担当者	所属	講義番号	分野	水準	備考
コア	英語文化研究C	1	演習	辻 照彦	人社・教育系(経)	070Q9023	70	03	R
コア	発展英語(全科目)	2	演習	I.メギール・他	大学教育開発研究センター		70	03	A★
コア	応用英語(全科目)	2	演習	B.イヨベ・他	大学教育開発研究センター		70	04	C
コア	英米文化基礎演習A	2	演習	平野 幸彦	人社・教育系(人)	070H3358	29	13	A
コア	英米文化基礎演習B	2	演習	金山 亮太	人社・教育系(人)	070H3359	29	13	A
コア	英米文化基礎演習A	2	演習	大石 強	人社・教育系(人)	070H3360	29	13	A
コア	英米文化基礎演習B	2	演習	大石 強	人社・教育系(人)	070H3361	29	13	A
コア	英米文化基礎演習A	2	演習	高橋 康浩	人社・教育系(人)	070H3362	29	13	A
コア	英米文化基礎演習B	2	演習	高橋 正平	人社・教育系(人)	070H3363	29	13	A
コア	英語アクティブA(全科目)	2	演習	S.ドルカ	非常勤講師		70	03	A
コア	英語アクティブA(全科目)	2	演習	I.メギール	大学教育開発研究センター		70	03	A
コア	英語アクティブB(全科目)	2	演習	I.ガラオン青木	非常勤講師		70	03	A
コア	英語アクティブC(全科目)	2	演習	S.ドルカ	非常勤講師		70	03	A
コア	英語アクティブC(全科目)	2	演習	I.メギール	大学教育開発研究センター		70	03	A
コア	英語教育と言語学研究法Ⅰ	2	講義	成田 圭市	人社・教育系(教)	070K6607	40	23	B
コア	英語教育と言語学研究法Ⅱ	2	講義	成田 圭市	人社・教育系(教)	070K6608	40	23	B
コア	米文学教材研究Ⅰ	2	講義	岡村 仁一	人社・教育系(教)	070K6621	40	23	B
コア	米文学教材研究Ⅱ	2	講義	岡村 仁一	人社・教育系(教)	070K6622	40	23	B
関連	海外研修	※	実習			070Q0020	70	04	
関連	英米文化概論A	2	講義	高橋 正平	人社・教育系(人)	070H3078	29	03	B
関連	英米文化概論B	2	講義	平野 幸彦	人社・教育系(人)	070H3080	29	03	B
関連	英米言語概論A	2	講義	秋 孝道	人社・教育系(人)	070H3081	30	03	B
関連	英米言語概論B	2	講義	秋 孝道	人社・教育系(人)	070H3082	30	03	B
関連	英米文化特殊研究A	2	講義	高橋 正平	人社・教育系(人)	070H3200	29	04	B
関連	英米文化特殊研究B	2	講義	I.メギール	大学教育開発研究センター	070H3202	29	04	B
関連	英米文化論A	2	講義	金山 亮太	人社・教育系(人)	070H3204	29	04	B
関連	英米文化論B	2	講義	高橋 康浩	人社・教育系(人)	070H3206	29	04	B
関連	言語学特殊研究A	2	講義	福田 一雄	人社・教育系(人)	070H3114	30	04	B
関連	人間学演習	2	演習	佐藤 徹郎	人社・教育系(人)	070H3384	28,30	14	B
関連	人間学演習	2	演習	佐藤 徹郎	人社・教育系(人)	070H3384	28,30	14	B
関連	人間学演習	2	演習	佐藤 徹郎	人社・教育系(人)	070H3384	28,30	14	B
関連	人間学演習	2	演習	佐藤 徹郎	人社・教育系(人)	070H3384	28,30	14	B
関連	文化コミュニケーション論演習	2	演習	福沢 榮司	人社・教育系(人)	070H3512	10,29	14	B
関連	文化コミュニケーション論演習	2	演習	福沢 榮司	人社・教育系(人)	070H3512	10,29	14	B
関連	外書講読Ⅰ	2	演習	恩田 公夫	人社・教育系(経)	070E0002	36	04	A
関連	外書講読Ⅰ	2	演習	辻 照彦	人社・教育系(経)	070E0003	36	04	A
関連	外書講読Ⅱ	2	演習	辻 照彦	人社・教育系(経)	070E0016	36	04	A
関連	国際コミュニケーション基礎演習Ⅰ(英)	2	演習	鈴木 利久	人社・教育系(経)	070E3001	70,37	13	A
関連	異文化論	2	演習	辻 照彦	人社・教育系(経)	070E1516	33	04	B
関連	異文化論	2	演習	恩田 公夫	人社・教育系(経)	070E1517	33	04	B
関連	国際コミュニケーション講義Ⅰ(英)	2	講義	G.ハドリー	非常勤講師	070E3002	70,37	14	B
関連	国際コミュニケーション講義Ⅱ(英)	2	講義	B.イヨベ	非常勤講師	070E3003	70,37	14	B
関連	国際コミュニケーション講義Ⅲ(英)	2	講義	G.ハドリー	非常勤講師	070E3004	70,37	14	B
関連	国際コミュニケーション講義Ⅳ(英)	2	講義	B.イヨベ	非常勤講師	070E3005	70,37	14	B
関連	国際コミュニケーション演習Ⅰ(英)	2	演習	鈴木 利久	人社・教育系(経)	070E3008	70,37	14	B
関連	国際コミュニケーション演習Ⅱ(英)	2	演習	鈴木 利久	人社・教育系(経)	070E3009	70,37	14	B
関連	国際コミュニケーション演習Ⅲ(英)	2	演習	G.ケント	非常勤講師	070E3010	70,37	14	B
関連	国際コミュニケーション演習Ⅳ(英)	2	演習	G.ケント	非常勤講師	070E3011	70,37	14	B
関連	国際コミュニケーション講義Ⅴ(英)	2	講義	G.ハドリー	非常勤講師	070E3006	70,37	14	B
関連	国際コミュニケーション講義Ⅵ(英)	2	講義	G.ハドリー	非常勤講師	070E3007	70,37	14	B

※海外研修については、教育施設及び教育課程を審査の上、単位を認めることがある。

★：所属学部の必須単位以外のものだけカウント

備考：Aは「発展英語」を除き、原則として第3セメスター以降に学習すべき科目、Bは第5セメスター以降に学習すべき科目を表す。

平成19年度 課題別副専攻

■テーマの名称「外国語（フランス語）」

副専攻の概要	フランス語の4技能（読む・書く・聞く・話す）のバランスのとれた運用能力の育成と、言語の営みが生み出す文化（政治・法律・経済・歴史・芸術 etc）についての幅広い教養の習得を目指す学習プログラムを提供する。	
副専攻のねらい	フランス語の運用能力を養成し、フランス語という言語の営みが生み出す文化に親しむ。	
副専攻の到達目標	フランス語検定試験2級レベルのフランス語の文章を読み、内容を説明できる。	副専攻委員会委員 ○高田 晴夫 ・高木 裕 ・逸見 龍生
認定条件及び評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・本副専攻プログラムが定めた授業科目から24単位以上を習得していること。 ・卒業時の総修得単位数が、所属する学部卒業要件単位数に12単位以上を加えたものであること。 ・卒業時のGPAが2.5以上であること。 ・当該学生が所属する主専攻課程（学科）に関わる科目のうち、副専攻科目として認定する単位は最大6単位とする。 ・コア科目からR科目を含む18単位以上の単位取得が必要である。 ・備考欄A群（中級レベル）の科目から6単位以上、B群（上級レベル）の科目から4単位以上の単位習得が必要である。 ・与えられた課題についてレポートを提出すること。 	

分類	授業科目名	単位	形式	授業担当者	所属	講義番号	分野2	水準	備考
コア	フランス学研究法	1	演習	高田晴夫・C.ヴィアト	人社・教育系(人)	070Q9024	71	03	R
コア	外国語ベーシック(独・仏・チェコ)	2	講義	佐藤 渉・他	非常勤講師		71	03	
コア	外国語ベーシック(独・仏・スペイン)	2	講義	高木 裕・他	人社・教育系(人)		71	03	
コア	フランス語ベーシック	3	演習	高木 裕・他	人社・教育系(人)		71	03	
コア	フランス語スタンダードⅠ/Ⅱ	3	演習	猪俣 賢司・他	人社・教育系(人)		71	03	
コア	フランス語インテンシブⅠ/Ⅱ	4	演習	逸見 龍生・他	人社・教育系(人)		71	03	
コア	コミュニケーション・フランス語A	2	演習	稲垣 文雄	非常勤講師	070G1041	71	03	A
コア	コミュニケーション・フランス語B	2	演習	C.ヴィアト	非常勤講師	070G1042	71	03	A
コア	コミュニケーション・フランス語C	2	演習	H.ホイスゴムス	非常勤講師	070G1043	71	03	A
コア	コミュニケーション・フランス語D	2	演習	稲垣 文雄	非常勤講師	070G1537	71	03	A
コア	コミュニケーション・フランス語E	2	演習	M.湊元	非常勤講師	070G1538	71	03	A
コア	ヨーロッパ文化研究法B	2	演習	村上 吉男	人社・教育系(人)	070H3317	29	13	A
コア	ヨーロッパ文化基礎演習C	2	演習	高木 裕	人社・教育系(人)	070H3366	29,30	13	A
コア	ヨーロッパ文化基礎演習D	2	演習	高田 晴夫	人社・教育系(人)	070H3367	29,30	13	A
コア	ヨーロッパ文芸論B	2	講義	高木 裕	人社・教育系(人)	070H3214	29	04	B
コア	フランス語セミナーA	2	講義	村上 吉男	人社・教育系(人)	070G1044	71	03	B
コア	ヨーロッパ言語論B	2	講義	高田 晴夫	人社・教育系(人)	070H3218	30	04	B
コア	フランス文化演習	2	演習	高木 裕	人社・教育系(人)	070H3484	29,30	14	B
コア	フランス文化演習	2	演習	高木 裕	人社・教育系(人)	070H3485	29,30	14	B
コア	フランス文化演習	2	演習	高田 晴夫	人社・教育系(人)	070H3486	30,30	14	B
コア	フランス文化演習	2	演習	村上 吉男	人社・教育系(人)	070H3487	29,30	14	B
コア	外書講読Ⅰ(仏)	2	演習	廣田 功	人社・教育系(経)	070E0004	36,70	04	B
コア	外書講読Ⅱ(仏)	2	演習	廣田 功	人社・教育系(経)	070E0017	36,70	04	B
コア	海外研修	※	実習			070Q0020	71	04	
関連	ヨーロッパ文化概説C	2	講義	高木 裕	人社・教育系(人)	070H3091	29	03	
関連	ヨーロッパ文化概説D	2	講義	高木 裕	人社・教育系(人)	070H3092	29	03	
関連	ヨーロッパ文化論C	2	講義	村上 吉男	人社・教育系(人)	070H3222	29	04	
関連	ヨーロッパ文化論D	2	講義	村上 吉男	人社・教育系(人)	070H3223	29	04	
関連	ヨーロッパ言語概説C	2	講義	高田 晴夫	人社・教育系(人)	070H3085	30	03	
関連	ヨーロッパ言語概説D	2	講義	高田 晴夫	人社・教育系(人)	070H3086	30	03	
関連	文化コミュニケーション論基礎演習B	2	演習	逸見 龍生	人社・教育系(人)	070H3383	10,29	13	
関連	文化コミュニケーション論演習	2	演習	逸見 龍生	人社・教育系(人)	070H3522	10,29	14	
関連	文化コミュニケーション論演習	2	演習	逸見 龍生	人社・教育系(人)	070H3523	10,29	14	
関連	現代文化論A	2	講義	逸見 龍生	人社・教育系(人)	070H3251	10,29	04	
関連	E U経済論	2	講義	廣田 功	人社・教育系(経)	070E1507	36	04	

※海外研修については、教育施設および教育課程を審査の上、単位を認めることがある。
備考：Aは「中級レベルの選択必修科目」、Bは「上級レベルの選択必修科目」を表す。
備考欄に記号のない科目は「選択科目」を表す。

平成19年度 課題別副専攻

■テーマの名称「外国語（コリア）」

副専攻の概要	日本と南北コリア（大韓民国、朝鮮民主主義人民共和国）とは長い間「近くて遠い国」と言われてきたが、今や日本から年間400万人が韓国を旅行する時代であり、経済的・文化的・政治的な結びつきは強まるばかりである。世界の言語の中でも日本語と最も共通点の多い朝鮮語を使いこなし、多様な情報を取捨選択する判断力を養うとともに、隣国・隣人として互いを理解し、協調するための歴史的・文化的な知識と、行動力を身につける。
副専攻のねらい	日本という国土に住む私たちは、いやおうなく東アジアおよびそれを取り巻く世界との関係の中で生きている。東アジア特に南北コリアと日本とが良好な関係を築くことは、「世界史」の新たな局面を開く実験となり得るかも知れない。朝鮮語学習および、韓国ほかアジア諸国からの留学生との交流を通じてそのような視点を持ち、異なる文化や歴史に対して、柔軟な発想で対話ができる「主体」となることをめざす。
副専攻の到達目標	大学での学修や日常生活について、朝鮮語で紹介できるようになる。辞書を引きながら、新聞やインターネットの記事を読んだり、検索することができる。朝鮮語でメールのやり取りができる（韓国語能力試験2級以上、「ハンゲル」能力検定試験3級以上のレベル）。
認定条件及び評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・本副専攻プログラムが定めた授業科目から24単位以上を修得していること。 ・卒業時の総修得単位数が、所属する学部卒業要件単位数に12単位以上を加えたものであること。 ・卒業時のGPAが2.5以上であること。 ・当該学生が所属する主専攻課程（学科）に関わる科目のうち、副専攻科目として認定する単位は最大6単位とする。 ・コア科目からR科目を含む12単位以上の単位取得が必要である。 ・備考欄A群の科目から5単位以上、B群の科目から6単位以上、さらにB・C群の科目から必要単位数を修得すること。 ・「ハンゲル」能力検定試験3級（もしくは韓国語能力試験2級）以上に合格すること。
副専攻委員会委員	○藤石 貴代 ・山内 民博

分類	授業科目名	単位	形式	授業担当者	所属	講義番号	分野	水準	備考
コア	コリア学入門	1	演習	藤石 貴代・他	人社・教育系(人)	070Q9025	71	03	R
コア	国際交流	2	演習	藤石 貴代・他	人社・教育系(人)	070Q0026	71	03	R
コア	外国語ベーシックⅠ(朝・中・露語)	2	講義	金子 一郎・他	人社・教育系(人)		71	03	A
コア	朝鮮語ベーシックⅡ	3	演習	金 世朗・他	非常勤講師		71	03	A
コア	朝鮮語スタンダードⅠ/Ⅱ	3	演習	朴 修禧・他	非常勤講師		71	03	A
コア	朝鮮語インテンシブⅠ/Ⅱ	4	演習	藤石 貴代・他	人社・教育系(人)		71	03	A
コア	コミュニケーション・朝鮮語A	2	演習	鄭 賢熙	非常勤講師	070G1068	71	03	C
コア	コミュニケーション・朝鮮語B	2	演習	金 世朗	非常勤講師	070G1069	71	03	C
コア	コミュニケーション・朝鮮語C	2	演習	鄭 賢熙	非常勤講師	070G1567	71	03	C
コア	コミュニケーション・朝鮮語D	2	演習	金 世朗	非常勤講師	070G1568	71	03	C
コア	朝鮮語セミナーB	2	演習	藤石 貴代	人社・教育系(人)	070G1070	71	04	C
コア	アジア史概説B	2	講義	山内 民博	人社・教育系(人)	070H3076	31	03	C
コア	アジア言語文化研究法B	2	演習	藤石 貴代	人社・教育系(人)	070H3305	30	13	C
コア	アジア歴史文献研究法A	2	演習	山内 民博	人社・教育系(人)	070H3307	31	13	C
コア	アジア歴史文献研究法B	2	演習	山内 民博	人社・教育系(人)	070H3308	31	13	C
コア	朝鮮社会論	2	演習	山内 民博	人社・教育系(人)	070H3198	31	04	C
コア	朝鮮言語文化論	2	演習	藤石 貴代	人社・教育系(人)	070H3192	29	04	C
コア	海外研修	※	実習			070Q0020	71	04	C
関連	アジア文化入門A	2	講義	山内 民博	人社・教育系(人)	070H3011	29	03	B
関連	アジア文化入門B	2	講義	橋谷 英子	人社・教育系(人)	070H3012	29	03	B
関連	留学生と考える日本の宗教Ⅰ	2	講義	柴田 幹夫	国際センター	070G3219	75	03	B
関連	留学生と考える日本の宗教Ⅱ	2	講義	柴田 幹夫	国際センター	070G3714	75	03	B
関連	留学生と考える日本の歴史Ⅰ	2	講義	柴田 幹夫	国際センター	070G3220	75	03	B
関連	留学生と考える日本の歴史Ⅱ	2	講義	柴田 幹夫	国際センター	070G3715	75	03	B
関連	異文化を考える～国際関係・国際協力の視点から	2	講義	阿波村 稔	国際センター	070G3729	75	03	B
関連	異文化コミュニケーションA	2	演習	柴田 幹夫	国際センター	070G3224	75	03	B
関連	異文化コミュニケーションB	2	実習	池田 英喜	国際センター	070G3716	75	03	B
関連	新潟と多文化共生社会	2	講義	足立 祐子	国際センター	070G3210	75	03	B
関連	日本事情人文系B	2	演習	池田 英喜	国際センター	070G4505	99	03	B
関連	日本語教育Ⅰ-A	2	演習	池田 英喜	国際センター	070G7027	30	03	B
関連	日本語教育Ⅱ-A	2	演習	足立 祐子	国際センター	070G7028	30	04	B
関連	日本語教育Ⅰ-B	2	演習	足立 祐子	国際センター	070G7522	30	03	B
関連	日本語教育Ⅱ-B	2	演習	池田 英喜	国際センター	070G7523	30	04	B
関連	アジア経済論Ⅱ	2	講義	溝口 由己	人社・教育系(経)	070E1511	36	04	B
関連	政治社会学	2	講義	真水 康樹	人社・教育系(法)	070L0052	35	03	B
関連	特殊講義(比較政治)	2	講義	真水 康樹	人社・教育系(法)	070L1106	35	03	B
関連	特殊講義(韓国政治の現在2007)	2	講義	丁 栄泰	非常勤講師	070L0073	35	03	B
関連	国際法概論	2	講義	山崎 公士	人社・教育系(院実法)	070L0038	34	03	B
関連	国際人権法	2	講義	山崎 公士	人社・教育系(院実法)	070L0039	34	04	B

※海外研修については、教育施設及び教育課程を審査の上、単位を認めることがある。

備考：Rは「必修科目」、Aは「朝鮮語運用能力開発のための科目」、Bは「幅広くコリアを理解するための科目」、Cは「コリアに関する専門科目」を表す。

■テーマの名称「外国語（ロシア語）」

副専攻の概要 日本海に面しているという新潟の地理上の特性に鑑み、ロシア語の分かる地方公務員、基本的なロシア語会話ができる英語教師、ロシアの文化について語ることでできるジャーナリストといった人材を育てるためのカリキュラムである。ロシア語の初級、中級文法とロシア文化の基本的な知識の習得を目指す。

副専攻のねらい 別に専門を持ちながらロシアの人々、ロシアの文化と接していくためのロシア語の力を身につける。また、ロシアの文化にアクセスするためのノウ・ハウを身につける。

副専攻の到達目標

1. 習得語彙数1000以上。形動詞・副動詞まで含めた基本的な文法を習得し、活用できる。
2. ゆっくりとしたテンポで基本的な会話ができる。
3. 新聞・雑誌の記事等を辞書を使って読解できる。（指定のロシア語検定2級受験レベル）。

副専攻委員会委員 ○齋藤 陽一
・鈴木 正美
・番場 俊

認定条件及び評価の方法

- ・本副専攻プログラムが定めた授業科目から24単位以上を修得していること。
- ・卒業時の総修得単位数が、所属する学部卒業要件単位数に12単位以上を加えたものであること。
- ・卒業時のGPAが2.5以上であること。
- ・当該学生が所属する主専攻課程（学科）に関わる科目のうち、副専攻科目として認定する単位は最大6単位とする。
- ・コア科目から必修科目を含む12単位以上の単位取得が必要である。
- ・備考欄A群の科目から6単位以上の単位取得が必要である。
- ・必ず、ロシア文化演習を最低2単位受講すること。尚、それまでにここに定めた科目から18単位以上取得していること。
- ・認定申請時に、所定のレポートを提出して合格すること。

分類	授業科目名	単位	形式	授業担当者	所属	講義番号	分野	水準	備考
コア	ロシア学研究法	1	演習	齋藤 陽一・他	人社・教育系 (人)	070Q9027	71	03	R
コア	外国語ベーシックⅠ（中・朝・露）	2	講義	番場 俊・他	人社・教育系 (人)		71	03	A
コア	ロシア語ベーシックⅡ	3	演習	鈴木 正美	人社・教育系 (人)		71	03	A
コア	ロシア語スタンダードⅠ/Ⅱ	3	演習	中谷 昌弘・他	非常勤講師		71	03	A
コア	ロシア語インテンシブⅠ/Ⅱ	4	演習	番場 俊・他	人社・教育系 (人)		71	03	A
コア	初級ロシア語Ⅰ/Ⅱ	1	演習	市川 康子	非常勤講師		71	03	A(夜間注)
コア	コミュニケーション・ロシア語A	2	演習	R.ブラーソル	非常勤講師	070G1544	71	03	
コア	コミュニケーション・ロシア語B	2	演習	富山 栄子	非常勤講師	070G1049	71	03	
コア	コミュニケーション・ロシア語C	2	演習	富山 栄子	非常勤講師	070G1545	71	03	
コア	ロシア語セミナーA	2	演習	番場 俊	人社・教育系 (人)	070G1546	71	03	
コア	ロシア語セミナーB	2	演習	R.ブラーソル	非常勤講師	070G1050	71	03	
コア	ヨーロッパ文化基礎演習E	2	演習	齋藤 陽一	人社・教育系 (人)	070H3368	29,30	13	
コア	ヨーロッパ文化基礎演習F	2	演習	鈴木 正美	人社・教育系 (人)	070H3369	29,30	13	
コア	ヨーロッパ文化研究法C	2	演習	齋藤 陽一	人社・教育系 (人)	070H3319	29	13	
コア	ヨーロッパ言語概説F	2	講義	番場 俊	人社・教育系 (人)	070H3088	30	03	
コア	ヨーロッパ文化概説E	2	講義	鈴木 正美	人社・教育系 (人)	070H3093	29	03	
関連	海外研修	※	実習			070Q0020	71	04	
関連	文学D	2	講義	番場 俊	人社・教育系 (人)	070G7508	29	03	
関連	西洋文化研究演習B	2	演習	齋藤 陽一	人社・教育系 (人)	070G7036	29	03	
関連	ロシア文化演習	2	演習	鈴木 正美	人社・教育系 (人)	070H3488	29	14	R★
関連	ロシア文化演習	2	演習	鈴木 正美	人社・教育系 (人)	070H3489	29	14	R★
関連	ロシア文化演習	2	演習	番場 俊	人社・教育系 (人)	070H3490	29	14	R★
関連	ロシア文化演習	2	演習	齋藤 陽一	人社・教育系 (人)	070H3491	29	14	R★
関連	ヨーロッパ文芸論C	2	講義	鈴木 正美	人社・教育系 (人)	070H3216	29	04	
関連	ヨーロッパ言語論C	2	講義	鈴木 正美	人社・教育系 (人)	070H3219	30	04	
関連	ヨーロッパ文化論F	2	講義	中谷 昌弘	非常勤講師	070H3225	29	04	
関連	ヨーロッパ事情C	2	講義	鈴木 正美	人社・教育系 (人)	070H3228	29	04	
関連	表象文化論B	2	講義	番場 俊	人社・教育系 (人)	070H3254	10,29	04	
関連	東欧経済論	2	講義	小山 洋司	人社・教育系 (経)	070E1509	36	04	
関連	東欧経済論	2	講義	小山 洋司	人社・教育系 (経)	070E1509	36	04	

※海外研修については、教育施設及び教育課程を審査の上、単位を認めることがある。

備考：Rは「必修科目」、R★は、「選択必修科目」、Aは「初歩的科目」を表す。

平成19年度 課題別副専攻

■テーマの名称「外国語（中国語）」

副専攻の概要	グローバル化する世界で、中国語文化圏の占める位置はますます大きくなっている。中国語の高度な実践的運用能力を涵養すると共に、中国語文化圏についての基礎的知識を有し、広い視野に立って中国および国際問題とかかわっていける人材を育てる。		
副専攻のねらい	中国語の実践的能力を習得し、中国語文化圏のさまざまな事象への理解を深める。		
副専攻の到達目標	中国の大学における専門課程の授業を理解できる（HSK 7級合格レベル）。	副専攻委員会委員	○橋谷 英子 ・児玉 憲明 ・朱 継征
認定条件及び評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・本副専攻プログラムが定めた授業科目から24単位以上を修得していること。 ・卒業時の総修得単位数が、所属する学部卒業要件単位数に12単位以上を加えたものであること。 ・卒業時のGPAが2.5以上であること。 ・当該学生が所属する主専攻課程（学科）に関わる科目のうち、副専攻科目として認定する単位は最大6単位とする。 ・コア科目から必修科目を含む12単位以上の単位取得が必要である。 ・備考欄A科目群の科目から6単位以上、B群の科目から6単位以上の取得が必要である。 		

分類	授業科目名	単位	形式	授業担当者	所属	講義番号	分野	水準	備考
コア	中国学研究法	1	講義	斯日 古楞・他	非常勤講師	070Q9028	71	03	R
コア	外国語ベーシックⅠ(中・朝・露)	2	演習	楊 夫高・他	非常勤講師	070G1010	71	03	
コア	中国語インテンシブⅠ／Ⅱ	4	演習	橋谷 英子・他	人社・教育系(人)		71	03	A
コア	中国語スタンダードⅠ／Ⅱ	3	演習	茂木 信之・他	人社・教育系(経)		71	03	A
コア	中国語ベーシックⅡ	3	演習	藤田 益子・他	国際センター		71	03	A
コア	初級中国語Ⅰ／Ⅱ	1	演習	肖 航	非常勤講師		71	03	A
コア	コミュニケーション・中国語C	2	演習	詹 秀娟	非常勤講師	070G1062	71	03	B
コア	コミュニケーション・中国語E	2	演習	楊 夫高	非常勤講師	070G1063	71	03	B
コア	コミュニケーション・中国語D	2	演習	詹 秀娟	非常勤講師	070G1560	71	03	B
コア	中国語セミナーB	2	演習	斯日 古楞	非常勤講師	070G1064	71	04	B
コア	国際コミュニケーション(中)ⅠD	2	演習	朱 継征	人社・教育系(経)	070E1600	71,36	14	B
コア	国際コミュニケーション(中)ⅡD	2	演習	朱 継征	人社・教育系(経)	070E1601	71,36	14	B
コア	中国語セミナーC	2	演習	斯日 古楞	非常勤講師	070G1562	71	03	B
コア	アジア文化入門B	2	講義	橋谷 英子	人社・教育系(人)	070H3012	29	03	
コア	アジア言語文化概説A	2	演習	橋谷 英子	人社・教育系(人)	070H3070	29	03	
コア	アジア言語文化概説B	2	演習	橋谷 英子	人社・教育系(人)	070H3071	29	03	
コア	アジア言語文化研究法A	2	講義	田口 一郎	非常勤講師	070H3304	30	13	
コア	アジア言語文化論A	2	講義	兒玉 憲明	人社・教育系(人)	070H3185	29,30	04	
コア	アジア言語文化論B	2	講義	玄 宜青	非常勤講師	070H3186	29,30	04	
コア	中国言語文化論B	2	講義	太田 齋	非常勤講師	070H3188	29,30	04	
コア	中国文芸文化論B	2	講義	橋谷 英子	人社・教育系(人)	070H3190	29,30	04	
コア	中国思想文化論	2	講義	兒玉 憲明	人社・教育系(人)	070H3191	29	04	
コア	中国留学準備講座Ⅰ	2	演習	藤田 益子	国際センター	070G3233	75	03	
コア	中国留学準備講座Ⅱ	2	演習	藤田 益子	国際センター	070G3234	75	03	
コア	外書講読Ⅰ	2	演習	朱 継征	人社・教育系(経)	070E0005	36,70	04	
コア	異文化論	2	講義	茂木 信之	人社・教育系(経)	070E6140	33	04	
コア	中国政治入門	2	講義	王聯	人社・教育系(法学)	070L1057	35	03	
コア	中国法入門	2	講義	劉 東進	人社・教育系(法学)	070L1069	34	03	
コア	海外研修					070Q0020	71	04	
関連	環日本海社会論	2	講義	井村 哲郎	人社・教育系(現)	070H3168	31	04	
関連	アジア経済論Ⅰ	2	講義	溝口 由己	人社・教育系(経)	070E1510	36	04	
関連	アジア歴史文化論A	2	講義	關尾 史郎	人社・教育系(人)	070H3194	31	04	
関連	アジア歴史文化論B	2	講義	広川 佐保	人社・教育系(人)	070H3195	31	04	
関連	中国法史	2	講義	國谷知史	人社・教育系(実法)	070L0045	34	03	
関連	中国政治史	2	講義	真水康樹	人社・教育系(法学)	070L1041	35	03	
関連	上海に行こうⅠ	2	演習	柴田 幹夫	国際センター	070G3225	75	03	

※海外研修については、当該教育施設及び教育課程を審査の上、単位を認めることがある。

備考：Rは「必修科目」、Aは「中級レベル」、Bは「上級レベル」

平成19年度 課題別副専攻

■テーマの名称「世界システム論」

副専攻の概要 近代以降の世界を読み解くためには、世界全体をある種の構造を有するものとしてとらえていくことが必要となったといえる。そして「グローバル化」が進展する今日世界の一体化は急速に進展している。しかし、その中で、また、地域の重要性も再認識されるようになってきている。しがたって、現代を把握するには両者の関係を理解することが鍵となる。本プログラムは、こうした現代をより深く把握するために設計されたプログラムである。

副専攻のねらい

1. 今日進展しているグローバル化といわれる現象はどのようなものであるのかが理解できるようになる。
2. 新潟という地域、そこで暮らしている人々（われわれも）とグローバル化との関係について理解できるようになる。
3. 新潟という地域に足を踏まえ国際社会で活躍するための考え方を身につけることができるようになる。

副専攻の到達目標

1. 資本主義の発展を世界的視野から大まかに説明することができる。
2. 北東アジアの国々・諸地域の現状を把握し、それらの特徴を簡潔に説明することができる。
3. グローバリゼーションの進展と地域社会との関係を理解した上で、今後研究を深める、あるいは、携わっていこうと思う課題を明らかにすることができる。

副専攻委員会委員 ○菅原 陽心
・佐野 誠
・向山 恭一

認定条件及び評価の方法

- ・本副専攻プログラムが定めた授業科目から24単位以上を修得していること。
- ・卒業時の総修得単位数が、所属する学部卒業要件単位数に12単位以上を加えたものであること。
- ・卒業時のGPAが2.5以上であること。
- ・当該学生が所属する主専攻課程（学科）に関わる科目のうち、副専攻科目として認定する単位は最大6単位とする。
- ・コア科目から必修科目(備考欄にRと記載)を含む12単位以上の単位取得が必要である。
- ・コア科目の内、A、Bと区分された科目から、それぞれ2科目以上履修することが必要である。
- ・備考欄にSとある科目は年度初めに選考を行う。また、人数などにより、聴講できないこともある。

分類	授業科目名	単位	形式	授業担当者	所属	講義番号	分野	水準	備考
コア	グローバル化入門	1	演習	菅原 陽心	人社・教育系(経)	070Q9029	36,38	03	R
コア	社会学	2	講義	内田 健	人社・教育系(教)	070K5615	38	04	A
コア	比較地域社会学	2	講義	佐藤 康行	人社・教育系(人)	070G3202	75	03	A
コア	現代市民社会論Ⅰ	2	講義	向山 恭一	人社・教育系(教)	070K7013	38	04	A
コア	現代社会関係論Ⅰ	2	講義	内田 健	人社・教育系(教)	070K6913	38	04	A
コア	国際法概論	2	講義	山崎 公士	人社・教育系(実法)	070L0038	34	03	A
コア	社会経済学入門Ⅱ	2	講義	菅原 陽心	人社・教育系(経)	070E1002	36	03	B
コア	世界経済史Ⅱ	2	講義	佐藤 芳行	人社・教育系(経)	070E1504	36	04	B
コア	アメリカ経済論	2	講義	未定	非常勤講師	070E1506	36	04	B
コア	食料・資源問題入門	2	講義	青柳 斉	自然科学系(農)	070A1001	62,64	03	B
コア	アジア経済論Ⅰ	2	講義	溝口 由己	人社・教育系(経)	070E1510	36	04	B
コア	アジア国際政治史	2	講義	真水 康樹	人社・教育系(法)	070L0041	35	03	E
コア	経済政策論Ⅰ	2	講義	芳賀 健一	人社・教育系(経)	070E1100	36	04	C
コア	日本経済史	2	講義	藤井 隆至	人社・教育系(院現社)	070E1505	36	04	C
コア	EU経済論	2	講義	廣田 功	人社・教育系(経)	070E1507	36	04	C
コア	国際企業論Ⅱ	2	講義	永山 庸男	人社・教育系(院技経)	070E3305	37	04	C
コア	北東アジア社会経済演習	2	演習	環日本海経済研究所研究員	非常勤講師	070Q0030	36	03	R
関連	文化人類学特殊研究	2	講義	白川 千尋	非常勤講師	070H3144	33	14	D
関連	アジア文化入門A	2	講義	山内 民博	人社・教育系(人)	070H3011	29	03	D
関連	ヨーロッパ文化入門B	2	講義	高木 裕	人社・教育系(人)	070H3016	29	03	D
関連	歴史学U	2	講義	高橋 秀樹	人社・教育系(人)	070G7022	31	03	D
関連	現代市民社会論Ⅱ	2	講義	向山 恭一	人社・教育系(教)	070K7014	38	04	D
関連	社会経済学入門Ⅰ	2	講義	菅原 陽心	人社・教育系(経)	070E1001	36	03	C
関連	世界経済史Ⅰ	2	講義	佐藤 芳行	人社・教育系(経)	070E1503	36	04	C
関連	東欧経済論	2	講義	小山 洋司	人社・教育系(経)	070E1509	36	04	C
関連	経済政策論Ⅱ	2	講義	芳賀 健一	人社・教育系(経)	070E1101	36	04	C
関連	アジア経済論Ⅱ	2	講義	溝口 由己	人社・教育系(経)	070E1511	36	04	C
関連	国際医療活動	2	講義	丹野 かほる	医歯学系(医)	070M5030	82	03	F
関連	医療ボランティア論	2	講義	齋藤 君枝	医歯学系(医)	070G8509	81	03	F
関連	演習ⅠA	2	演習	菅原 陽心・他	人社・教育系(経)	070E2005	36	13	S
関連	演習ⅠB	2	演習	菅原 陽心・他	人社・教育系(経)	070E2025	36	13	S
関連	演習ⅡA	2	演習	菅原 陽心・他	人社・教育系(経)	070E2046	36	14	S
関連	演習ⅡB	2	演習	菅原 陽心・他	人社・教育系(経)	070E2066	36	14	S
関連	演習ⅠA	2	演習	佐藤 芳行	人社・教育系(経)	070E2004	36	13	S
関連	演習ⅠB	2	演習	佐藤 芳行	人社・教育系(経)	070E2024	36	13	S
関連	演習ⅡA	2	演習	佐藤 芳行	人社・教育系(経)	070E2044	36	14	S
関連	演習ⅡB	2	演習	佐藤 芳行	人社・教育系(経)	070E2064	36	14	S
関連	演習ⅠA	2	演習	溝口 由己	人社・教育系(経)	070E2015	36	13	S
関連	演習ⅠB	2	演習	溝口 由己	人社・教育系(経)	070E2035	36	13	S
関連	演習ⅡA	2	演習	溝口 由己	人社・教育系(経)	070E2056	36	14	S
関連	演習ⅡB	2	演習	溝口 由己	人社・教育系(経)	070E2076	36	14	S
関連	演習ⅡA	2	演習	佐野 誠	人社・教育系(経)	070E2045	36	14	S
関連	演習ⅡB	2	演習	佐野 誠	人社・教育系(経)	070E2065	36	14	S

備考：Rは「必修科目」、Aは「人文学・法学分野選択必修科目」、Bは「経済学分野選択必修科目」、Cは「経済学分野科目」、Dは「人文学分野科目」、Eは「法学分野科目」、Fは「医学分野科目」、Sは「演習科目」を表す。

平成19年度 課題別副専攻

■テーマの名称「平和学」

副専攻の概要 「平和」とは単に「戦争のない状態」（消極的平和）ではなく、人間が自由に能力を発揮できる状態（積極的平和）である。しかし、世界各地では戦闘が続いており、飢餓・貧困・人権侵害・社会的差別等によって、人びとが平穏に暮らせない状況が存在する。積極的平和の実現には、人権の尊重、経済的・政治的安定、安全な環境等々が必須条件となるため、平和、人権と開発の問題は深く関わっている。この課題別副専攻では、幅広い分野にわたる広義の平和問題を多角的に理解し、積極的平和に関し主体的に考え、行動できる人材の育成を目指す。

副専攻のねらい 平和、人権と開発の問題は深く関わっている。この課題別副専攻では、幅広い分野にわたる広義の平和問題を多角的に理解し、積極的平和に関し主体的に考え、行動できる人材の育成を目指す。

副専攻の到達目標 1. 消極的平和を阻害する現状を認識し、その原因を考察できるようになる。 2. 積極的平和を阻害する「構造的暴力」の現状を認識し、その原因を考察できるようになる。 3. 平和・人権・開発問題の相互連関を認識できるようになる。 4. 上記の認識・考察を踏まえ、積極的平和に向けて主体的に行動できるようになる。	副専攻委員会委員 ○山崎 公士 ・赤井 純治 ・山崎 健
---	--

認定条件及び評価の方法

- ・本副専攻プログラムが定めた授業科目から24単位以上を修得していること。
- ・卒業時の総修得単位数が、所属する学部の卒業要件単位数に12単位以上を加えたものであること。
- ・卒業時のGPAが2.5以上であること。
- ・当該学生が所属する主専攻課程（学科）に関わる科目のうち、副専攻科目として認定する単位は最大6単位とする。
- ・備考にあるR科目のうち、3科目（6単位）を修得すること。
- ・コア科目のうち、備考にあるR科目は必修であり、すべて修得すること。
- ・コア科目のうち、備考にあるA科目から2科目(4単位)を修得すること。
- ・コア科目のうち、備考にあるB科目から2科目(4単位)を修得すること。
- ・本副専攻プログラムが定めた授業科目のGPAが3.0以上であること。
- ・「平和学総合演習」は最終年次に履修しなければならない必修科目である。
- ・コア科目のうち、「平和を考える A」及び「平和を考える B」は導入のための科目であり、受講するのが望ましい。
- ・履修条件については、シラバス記載の各担当教員の指示に注意すること。
- ・修了レポート（1万字程度）を提出すること。

分類	授業科目名	単位	形式	授業担当者	所属	講義番号	分野	水準	備考
コア	平和学入門	1	講義	川島 聡	非常勤講師	070Q9031	99	03	R
コア	平和学総合演習	2	演習	山崎 公士	人社・教育系 (院実法)	070Q0032	99	05	R
コア	平和を考えるA	2	講義	山崎 健	人社・教育系 (教)	070G3227	75	03	A
コア	平和を考えるB	2	講義	山崎 健	人社・教育系 (教)	070G3721	75	03	A
コア	平和を考える in 新潟	2	講義	赤井 純治	自然科学系 (理)	070G3704	75	03	A
コア	開発と平和	2	講義	蓮井 誠一郎	非常勤講師	070Q0033	99	03	R
コア	法社会学	2	講義	南方 暎	人社・教育系 (院実法)	070G7057	34	03	B
コア	比較地域社会学	2	講義	佐藤 康行	人社・教育系 (人)	070G3202	75	03	B
コア	比較教育学	2	講義	世取山 洋介	人社・教育系 (教)	070K5006	40	22	B
コア	憲法基礎Ⅰ	2	講義	成嶋 隆	人社・教育系 (院実法)	070L1017	34	03	A
コア	憲法基礎Ⅱ	2	講義	大河内 美紀	人社・教育系 (法)	070L1018	34	03	A
コア	国際法概論	2	講義	山崎 公士	人社・教育系 (院実法)	070L0038	34	03	B
コア	国際人権法	2	講義	山崎 公士	人社・教育系 (院実法)	070L0039	34	04	C
コア	法政演習 (国際人権法 2007Ⅰ)	2	演習	山崎 公士	人社・教育系 (院実法)	070L0267	34	14	C
コア	法政演習 (国際人権法 2007Ⅱ)	2	演習	山崎 公士	人社・教育系 (院実法)	070L0268	34	14	C
コア	国際開発協力演習 (環境と開発)	2	演習	宮田 春夫	国際センター	070Q0034	99	04	B
コア	マス・メディア論	2	講義	吉田 和比古	人社・教育系 (法)	070L1054	35,38	03	B
コア	アジア経済論Ⅰ	2	講義	溝口 由己	人社・教育系 (経)	070E1510	36	04	B
コア	科学技術者の倫理	2	講義	丸山 武男	自然科学系 (工)	070G6041	16	03	B
コア	障害者の人権	2	講義	川島 聡	非常勤講師	070Q0035	99	04	B
関連	環日本海社会論	2	講義	井村 哲郎	人社・教育系 (現)	070H3168	31	04	B
関連	人文社会情報論	2	講義	未定	未定	070G7519	10	04	B
関連	比較教育学演習A	2	演習	世取山 洋介	人社・教育系 (教)	070K5029	40	13	C
関連	比較教育学演習B	2	演習	世取山 洋介	人社・教育系 (教)	070K5030	40	13	C
関連	法社会学	2	講義	南方 暎	人社・教育系 (院実法)	070L0053	34	03	B
関連	国際関係論	2	講義	黒田 俊郎	非常勤講師	070L0042	35	03	B
関連	現代政治経済学入門	2	講義	佐藤 芳行	人社・教育系 (経)	070G7566	36	03	B
関連	アジア経済論Ⅱ	2	講義	溝口 由己	人社・教育系 (経)	070E1511	36	04	B
関連	行政救済法	2	講義	下井 康史	人社・教育系 (院実法)	070L0020	34	04	B
関連	開発途上国の環境と開発：事例研究	2	演習	宮田 春夫	国際センター	070G3728	75	05	C
関連	国際開発協力論：「開発」概念Ⅰ	2	講義	宮田 春夫	国際センター	070Q0047	99	04	B
関連	国際開発協力論：「開発」概念Ⅱ	2	講義	宮田 春夫	国際センター	070Q0048	99	04	B

備考：Rは「必修科目」、Aは「選択必修科目」、Bは「先端科目」、Cは「展開科目」を表す。

平成19年度 課題別副専攻

■テーマの名称「地域学」

副専攻の概要 地域は、血縁や利益集団と並ぶ地縁による重層的な帰属集団からなり、長い歴史を有する。しかし今や地域は自治体再編などで大きく揺れ、ここで生きる住民の未来には地域の自立の課題などが多様に重くのしかかっている。住民にとっての課題解決を探究する地域学は、本学個性化科目の地域研究や地域入門の履修をステップに、新潟地域をフィールドとし、地域に生きる上での課題を实践と理論から学習して普遍化し、課題解決のプランを学ぶプログラムである。

副専攻のねらい この副専攻を学習する意義は、地域の問題や課題について深く調査し、親しみ、考えたキャリアをもとに、各専門研究の立場から地域課題の解決に明るい人材を生み出すことに寄与できる。

副専攻の到達目標

1. 学生は、立場こそ違え、地域住民における様々な問題に関心を持ち、課題をともに担う態度をもって、それぞれの専門的立場からの解決を追求する場合の基礎力を身につける。
2. 1のために地域を歩き、地域を観察し、地域の人や歴史と出会う、自分が地域のなにに関心があるかを確認する。
3. 2に加えさらにその問題を調査し、深めて、課題を明らかにする報告書を作成することができるようになる。
4. これらは新潟の街をフィールドワークして背景となっている地域社会の歴史と文化などを深く理解することができる。

副専攻委員会委員

○小林 昌二
・原 直史
・有田 博之

認定条件及び評価の方法

- ・本副専攻プログラムが定めた授業科目から24単位以上を修得していること。
- ・卒業時の総修得単位数が、所属する学部の卒業要件単位数に12単位以上を加えたものであること。
- ・卒業時のGPAが2.5以上であること。
- ・当該学生が所属する主専攻課程（学科）に関わる科目のうち、副専攻科目として認定する単位は最大6単位とする。
- ・コア科目からR科目を4単位、A科目の3科目のうちから2単位の計6単位を含む含む12単位以上の単位取得が必要である。

分類	授業科目名	単位	形式	授業担当者	所属	講義番号	分野	水準	備考
コア	地域学序説入門	1	講義	小林 昌二・他	人社・教育系（院現社）	070Q9041	99	03	R
コア	地域学実習	1	実習	小林 昌二・他	人社・教育系（院現社）	070Q0042	99	04	R
コア	地域学演習	2	演習	小林 昌二・他	人社・教育系（院現社）	070Q0043	99	04	R
コア	現代新潟地域論	1	講義	望月 迪洋	非常勤講師	070Q0044	99	03	A
コア	地誌学概説A	2	講義	堀 健彦	人社・教育系（人）	070H3062	33	03	
コア	農村計画	2	講義	有田 博之	自然科学系（農）	070A3507	65	03	A
コア	環境地質学A	2	講義	卜部 厚志・他	災害復興科学センター	070S5038	44	04	A
コア	環境地質学B	2	講義	渡部 直喜	災害復興科学センター	070S5039	44	03	
コア	新潟学－新潟まつり編－	2	講義	加藤 かおり	大学教育開発研究センター	070G3216	75	03	A
コア	新潟学－ファシリテーター編－	4	講義	加藤 かおり	大学教育開発研究センター	070G3708	75	03	
コア	新潟大学が育んだ私の世界・私の夢	2	講義	栗原 隆	人社・教育系（人）	070G3707	75	03	
コア	歴史学F	2	講義	原 直史	人社・教育系（人）	070G7525	31	03	
コア	比較地域社会学	2	講義	佐藤 康行	人社・教育系（人）	070G3202	75	03	
コア	水を巡る農の旅	2	講義	福山 利範	自然科学系（農）	070G3214	75	03	
コア	地域社会文化入門	2	講義	橋本 博文	人社・教育系（人）	070H3008	31	03	
コア	地域から文化を考える	2	講義	芳井 研一	人社・教育系（人）	070G3213	75	03	
コア	都市計画学I	2	講義	岡崎 篤行	自然科学系（工）	070T6046	53	03	
コア	新潟の農業	2	講義	新美 芳二	自然科学系（農）	070A1159	60	04	
コア	地域に生きる思想	2	講義	栗原 隆	人社・教育系（人）	070G3215	75	03	
コア	地域を探る	2	講義	矢田 俊文	人社・教育系（人）	070G3701	75	03	
関連	新潟地域の歴史的研究	2	講義	小林 昌二	人社・教育系（院現社）	070G3709	75	03	
関連	コメ産業論	2	講義	青柳 齊	自然科学系（農）	070G3204	75	03	
関連	災害復興科学	2	講義	卜部 厚志	災害復興科学センター	070G3208	75	03	
関連	まちづくりと法律	2	講義	寺尾 仁	自然科学系（工）	070K7106	34	04	
関連	新潟“雪”物語－雪の科学と文化を探る－	2	講義	和泉 薫	災害復興科学センター	070G3203	75	03	
関連	越後平野の成り立ちと生活	2	講義	立石 雅昭	自然科学系（理）	070G3702	75	03	
関連	地域からの世界史	2	講義	関尾 史郎	人社・教育系（人）	070G3201	75	03	
関連	日本史概説C	2	講義	原 直史	人社・教育系（人）	070H3054	31	03	
関連	日本史概説D	2	講義	芳井 研一	人社・教育系（人）	070H3055	31	03	

備考：Rは「必修科目」、Aは「選択必修科目」を表す。

平成19年度 分野別副専攻

■テーマの名称「法律学」

副専攻の概要 変革が進む日本の社会にあって、これからは公正・公平で透明なルールによって規律される自由競争・自己責任の時代であるともいわれています。それはまさに法的な見方・考え方がより重要となる時代の到来を意味するものといえます。また、いたるところで多様な紛争、社会問題が絶えず発生しています。その処理、解決、予防を任務とする法律、法律学の機能と課題を、公法、民事法、刑事法及びその他の法律学分野の全般にわたる授業の履修を通じて理解してもらいます。

副専攻のねらい 法制度の概要を理解し、法律の条文に親しむ。

副専攻の到達目標

1. 法学の基本的概念や問題点を理解し、分析することができる。
2. 具体的事例に応じて、その事例における問題点や法的解決の可能性を指摘できる。

副専攻委員会委員

- 神戸 秀彦 (法学部学務委員長)
- ・田村 秀 (法学部学務委員)
- ・塚田 千根 (法学部学務委員)

認定条件及び評価の方法

- ・本副専攻プログラムが定めた授業科目から24単位以上を修得していること。
- ・卒業時の総修得単位数が、所属する学部卒業要件単位数に12単位以上を加えたものであること。
- ・卒業時のGPAが2.5以上であること。
- ・当該学生が所属する主専攻課程(学科)に関わる科目のうち、副専攻科目として認定する単位は最大6単位とする。
- ・コア科目から必修科目を含む12単位以上の単位取得が必要である。
- ・R1科目のうち、1科目(2単位)を修得すること(選択必修)。
- ・R2科目のすべて(6単位)を修得すること(必修科目)。
- ・コア科目のうち、A科目から1科目(2単位)を必ず修得すること(選択必修)。
- ・コア科目のうち、B科目から2科目(4単位)を必ず修得すること(選択必修)。
- ・コア科目のうち、C科目から1科目(2単位)を必ず修得すること(選択必修)。
- ・法学部学生を除く。

分類	授業科目名	単位	形式	授業担当者	所属	講義番号	分野	水準	備考
コア	リーガルシステムA	2	講義	神戸 秀彦	人社・教育系(院実法)	070G7049	34	03	R1
コア	リーガルシステムB	2	講義	真水 康樹	人社・教育系(法)	070G7050	34	03	R1
コア	法政演習	2	演習	法学担当教員			34	14	R2
コア	卒業研究(社会保障法Ⅰ)	2	演習	加藤 智章	人社・教育系(院実法)	070L1407	34	15	R2
コア	卒業研究(社会保障法Ⅱ)	2	演習	加藤 智章	人社・教育系(院実法)	070L1408	34	15	R2
コア	憲法基礎Ⅰ	2	講義	成嶋 隆	人社・教育系(院実法)	070L1017	34	03	A
コア	憲法基礎Ⅱ	2	講義	大河内 美紀	人社・教育系(法)	070L1018	34	03	A
コア	行政法総論	2	講義	下井 康史	人社・教育系(院実法)	070L1019	34	03	
コア	行政救済法	2	講義	下井 康史	人社・教育系(院実法)	070L0020	34	04	
コア	民事法基礎Ⅰ	2	講義	石畝 剛士	人社・教育系(法)	070L1001	34	03	B
コア	民事法基礎Ⅱ	2	講義	石畝 剛士	人社・教育系(法)	070L1002	34	03	B
コア	民事法基礎Ⅲ	2	講義	神戸 秀彦	人社・教育系(院実法)	070L1003	34	03	B
コア	民事法基礎Ⅳ	2	講義	神戸 秀彦	人社・教育系(院実法)	070L1004	34	03	B
コア	企業法Ⅰ	2	講義	山田 剛志	人社・教育系(院実法)	070L1005	34	04	
コア	企業法Ⅱ	2	講義	岡田 昌浩	人社・教育系(法)	070L1006	34	04	
コア	刑事法基礎Ⅰ	2	講義	五十嵐 さおり	人社・教育系(法)	070L1009	34	03	C
コア	刑事法基礎Ⅱ	2	講義	五十嵐 さおり	人社・教育系(法)	070L1010	34	03	C
コア	裁判法基礎	2	講義	五十嵐 さおり	人社・教育系(法)	070L1007	34	03	C
関連	自治体法	2	講義	南 真二	人社・教育系(法)	070L0021	34	04	
関連	自治体政策論	2	講義	南 真二	人社・教育系(法)	070L0022	34,35	04	
関連	税法Ⅰ	2	講義	駒宮 史博	人社・教育系(院実法)	070L0023	34	04	
関連	税法Ⅱ	2	講義	駒宮 史博	人社・教育系(院実法)	070L0024	34	04	
関連	紛争処理論	2	講義	水谷 暢	人社・教育系(院現社)	070L0068	34	04	
関連	国際法概論	2	講義	山崎 公士	人社・教育系(院実法)	070L0038	34	03	
関連	国際人権法	2	講義	山崎 公士	人社・教育系(院実法)	070L0039	34	04	
関連	国際私法	2	講義	野村 美明	非常勤講師	070L1040	34	03	
関連	国際関係論	2	講義	黒田 俊郎	非常勤講師	070L0042	35	03	
関連	労働団体会法	2	講義	木南 直之	人社・教育系(法)	070L1011	34	04	
関連	労働保護法	2	講義	木南 直之	人社・教育系(法)	070L1012	34	04	
関連	医療保障法	2	講義	加藤 智章	人社・教育系(院実法)	070L0025	34	04	
関連	社会保障法	2	講義	加藤 智章	人社・教育系(院実法)	070L0026	34	04	
関連	独占禁止法	2	講義	澤田 克己	人社・教育系(院実法)	070L1013	34	04	
関連	法情報学	2	講義	鈴木 正朝	人社・教育系(院実法)	070L1062	34	04	
関連	知的財産法	2	講義	渡邊 修	人社・教育系(院実法)	070L1015	34	04	
関連	特殊講義(法医学Ⅰ)	2	講義	山内 春男	医歯学系	070L1063	34	04	
関連	特殊講義(法医学Ⅱ)	2	講義	山内 春男	医歯学系	070L1064	34	04	
関連	ジェンダー論	2	講義	兵藤 守男・他	人社・教育系(法)	070L1065	34,35	03	
関連	比較法	2	講義	松本 英実	人社・教育系(院実法)	070L1043	34	04	
関連	法社会学	2	講義	南方 暁	人社・教育系(院実法)	070L0053	34	03	
関連	日本法史	2	講義	斎川 真	非常勤講師	070L0044	34	04	
関連	外国研究基礎	2	講義	真水 康樹・他	人社・教育系(法)	070L1060	34,35	03	
関連	政治学基礎	2	講義	谷 喬夫	人社・教育系(院実法)	070L1027	35	03	

備考：R1は「法学一般の基礎を養うための必修科目」、R2は「専攻領域ごとに法学の応用力を養うための必修科目」、Aは「公法系の基礎科目」、Bは「民事法系の基礎科目」、Cは「刑事法系の基礎科目」を表す。

平成19年度 分野別副専攻

■テーマの名称「政治学」

副専攻の概要 政治現象は多様性・多面性を持つため、理解しづらい側面があるが、政治現象は私たちの生き方と否応なく深く関わっている。従って、政治現象を総合的に理解し、また批判的にみる眼を養うことが重要であり、本副専攻はそのための能力を養うことを目的とする。

副専攻のねらい 政治学に関連する新聞記事に親しむと同時に、その問題点などを把握することができる。

副専攻の到達目標

1. 政治学の基本的概念や問題を理解する視点が習得できる。
2. 政治現象を批判的に分析できる。
3. 時代や地域に固有な政治現象を理解できる。

副専攻委員会委員

○神戸 秀彦
(法学部学務委員長)
・田村 秀
(法学部学務委員)
・塚田 千根
(法学部学務委員)

認定条件及び評価の方法

- ・本副専攻プログラムが定めた授業科目から24単位以上を修得していること。
- ・卒業時の総修得単位数が、所属する学部の卒業要件単位数に12単位以上を加えたものであること。
- ・卒業時のGPAが2.5以上であること。
- ・当該学生が所属する主専攻課程(学科)に関わる科目のうち、副専攻科目として認定する単位は最大6単位とする。
- ・コア科目から必修科目を含む12単位以上の単位取得が必要である。
- ・R1科目のうち、1科目(2単位)を修得すること(選択必修)。
- ・R2科目のすべて(6単位)を修得すること(必修科目)。
- ・コア科目と関連科目から24単位以上の単位を修得すること。
- ・コア科目のうち、A科目から4科目(8単位)以上を、B科目から2科目(4単位)以上の単位を修得すること(選択必修)。
- ・法学部学生を除く。

分類	授業科目名	単位	形式	授業担当者	所属	講義番号	分野	水準	備考
コア	リーガルシステムA	2	講義	神戸 秀彦	人社・教育系(院実法)	070G7049	34	03	R1
コア	リーガルシステムB	2	講義	真水 康樹	人社・教育系(法)	070G7050	34	03	R1
コア	法政演習	2	演習	政治学担当教員			35	14	R2
コア	卒業研究(社会保障法Ⅰ)	2	演習	加藤 智章	人社・教育系(院実法)	070L1407	34	15	R2
コア	卒業研究(社会保障法Ⅱ)	2	演習	加藤 智章	人社・教育系(院実法)	070L1408	34	15	R2
コア	政治学基礎	2	講義	谷 喬夫	人社・教育系(院実法)	070L1027	35	03	A
コア	政治学	2	講義	兵藤 守男	人社・教育系(法)	070L1028	35	03	A
コア	特殊講義(日本政治思想史)	2	講義	相原 耕作	非常勤講師	070L0088	35	03	B
コア	特殊講義(西洋政治思想史)	2	講義	谷 喬夫	人社・教育系(院実法)	070L1061	35	03	B
コア	中国政治史	2	講義	真水 康樹	人社・教育系(法)	070L1041	35	03	B
コア	西欧政治史Ⅰ	2	講義	宮内 俊至	人社・教育系(法)	070L1049	35	03	B
コア	西欧政治史Ⅱ	2	講義	皆川 泰雄	人社・教育系(法)	070L1050	35	03	B
コア	政治社会学	2	講義	真水 康樹	人社・教育系(法)	070L0052	35	03	B
コア	政治過程論	2	講義	田中 拓道	人社・教育系(法)	070L0029	35	04	A
コア	政策科学概論	2	講義	田村 秀	人社・教育系(院実法)	070L0037	35	03	A
コア	行政学総論	2	講義	田村 秀	人社・教育系(院実法)	070L0030	35	03	A
コア	行政学各論	2	講義	馬場 健	人社・教育系(院実法)	070L0031	35	03	A
コア	公共政策	2	講義	田中 伸至	人社・教育系(法)	070L1033	35	04	B
コア	都市政策論	2	講義	田中 伸至	人社・教育系(法)	070L0032	35	04	B
関連	自治体政策論	2	講義	南 眞二	人社・教育系(法)	070L0022	34,35	04	
関連	外国研究基礎	2	講義	真水 康樹・他	人社・教育系(法)	070L1060	34,35	03	
関連	マス・メディア論	2	講義	吉田 和比古	人社・教育系(法)	070L1054	35,38	03	
関連	ジェンダー論	2	講義	兵藤 守男・他	人社・教育系(法)	070L1065	34,35	03	
関連	中国政治入門	2	講義	王 聯	人社・教育系(法)	070L1057	35	03	
関連	西洋政治入門	2	講義	ゲルトック・マヤ	人社・教育系(法)	070L1066	35	03	

備考：R1は「政治学一般の基礎を養うための必修科目」、R2は「専攻教育ごとに政治学の応用力を養うための必修科目」Aは「政治学系の基礎科目」、Bは「政治学系の応用科目」を表す。

平成19年度 分野別副専攻

■テーマの名称「経済学」

副専攻の概要 人類は、生誕と共に、生産と消費を中心とする経済活動をつづけてきた。人間生活の物的基礎をなすこの経済活動は、この間たんに高度化してきてだけではない。その社会的あり方は、量的な変化を伴いながら段階的に、また国や地域ごとに個性を持って歴史的に発展してきた。副専攻「経済学」では、経済(学)の理論・歴史・政策・現状が体系的に学べる。

副専攻のねらい 人間は、1人では生きてゆけません。ゆえに、相互に認め合い、助け合う関係が不可欠である。この副専攻科目では、そうした社会的人間関係を経済の領域から分析し、自己の社会的位置を明らかにすることを課題としている。

副専攻の到達目標

1. 経済学的考え方が説明できる。
2. 経済学の実験手法を利用できる。
3. 現代社会の課題を発見し、問題を経済学的に解明することができる。

副専攻委員会委員

- 齋藤 忠雄
- ・伊藤 隆康
- ・山崎 剛志

認定条件及び評価の方法

- ・本副専攻プログラムが定めた授業科目から24単位以上を修得していること。
- ・卒業時の総修得単位数が、所属する学部の卒業要件単位数に12単位以上を加えたものであること。
- ・卒業時のGPAが2.5以上であること。
- ・当該学生が所属する主専攻課程(学科)に関わる科目のうち、副専攻科目として認定する単位は最大6単位とする。
- ・コア科目から必修科目を含む12単位以上の単位取得が必要である。
- ・コア科目と関連科目から24単位以上の単位取得を副専攻認定の基本条件とする。
- ・形式欄に演習とある科目は年度初めに選考を行う。また、人数等により、聴講できないこともある。
- ・経済学部学生を除く。
- ・最終的な評価は、基礎的な「経済理論または経済の現状」に関するレポートによっておこなう。

分類	授業科目名	単位	形式	授業担当者	所属	講義番号	分野	水準	備考
コア	経済学への招待	1	演習	齋藤 忠雄・他	人社・教育学系(経)	070Q9036	36	03	R
コア	社会経済学入門Ⅰ	2	講義	菅原 陽心	人社・教育学系(経)	070E1001	36	03	
コア	社会経済学入門Ⅱ	2	講義	菅原 陽心	人社・教育学系(経)	070E1002	36	03	
コア	ミクロ経済学入門	4	講義	藤堂 史明	人社・教育学系(院現社)	070E1003	36	03	
コア	マクロ経済学入門	4	講義	内藤 雅一	人社・教育学系(経)	070E1004	36	03	
コア	経済数学(微積分)	2	講義	未定	非常勤講師	070E1006	41	03	
コア	統計入門	4	講義	中東 雅樹	人社・教育学系(経)	070E3701	41	03	
コア	情報処理概論Ⅰ	2	講義	永井 雅人	人社・教育学系(経)	070E1008	10	03	
コア	情報処理概論Ⅱ	2	講義	永井 雅人	人社・教育学系(経)	070E1009	10	03	
コア	経済学史Ⅰ	2	講義	出雲 雅志	非常勤講師	070E1010	36	03	
コア	経済学史Ⅱ	2	講義	上久保 敏	非常勤講師	070E1011	36	03	
コア	経営学入門	4	講義	永山 庸男	人社・教育学系(院技経)	070E4002	37	03	
コア	会計入門	2	講義	山口 直也	人社・教育学系(経)	070E3600	37	03	
関連	経済政策論Ⅰ	2	講義	芳賀 健一	人社・教育学系(経)	070E1100	36	04	
関連	経済政策論Ⅱ	2	講義	芳賀 健一	人社・教育学系(経)	070E1101	36	04	
関連	国際金融論Ⅰ	2	講義	皆木 健男	非常勤講師	070E1102	36	04	
関連	国際経済学Ⅰ	2	講義	内藤 雅一	人社・教育学系(経)	070E1104	36	04	
関連	国際経済学Ⅱ	2	講義	内藤 雅一	人社・教育学系(経)	070E1105	36	04	
関連	財政学Ⅰ	2	講義	齋藤 忠雄	人社・教育学系(経)	070E1106	36	04	
関連	経済情報処理	2	講義	永井 雅人	人社・教育学系(経)	070E1108	10	04	
関連	経済学特殊講義	2	講義	伊藤 隆康	人社・教育学系(経)	070E1109	36	04	
関連	金融論Ⅰ	2	講義	伊藤 隆康	人社・教育学系(経)	070E1200	36	04	
関連	金融論Ⅱ	2	講義	伊藤 隆康	人社・教育学系(経)	070E1201	36	04	
関連	現代ミクロ経済理論Ⅰ	2	講義	山崎 剛志	人社・教育学系(経)	070E1202	36	04	
関連	現代ミクロ経済理論Ⅱ	2	講義	山崎 剛志	人社・教育学系(経)	070E1203	36	04	
関連	計量経済分析Ⅰ	2	講義	川出 真清	人社・教育学系(経)	070E1206	36	04	
関連	計量経済分析Ⅱ	2	講義	川出 真清	人社・教育学系(経)	070E1207	36	04	
関連	国民経済計算論Ⅰ	2	講義	未定	非常勤講師	070E1208	36	04	
関連	環境経済システム論Ⅱ	2	講義	藤堂 史明	人社・教育学系(院現社)	070E1213	36	04	
関連	労働経済論	2	講義	北條 雅一	人社・教育学系(経)	070E1214	36	04	
関連	産業組織論Ⅰ	2	講義	芹澤 伸子	人社・教育学系(経)	070E1215	36	04	
関連	社会経済学原理Ⅱ	2	講義	菅原 陽心	人社・教育学系(経)	070E1500	36	04	
関連	世界経済史Ⅰ	2	講義	佐藤 芳行	人社・教育学系(経)	070E1503	36	04	
関連	世界経済史Ⅱ	2	講義	佐藤 芳行	人社・教育学系(経)	070E1504	36	04	
関連	日本経済史	2	講義	藤井 隆至	人社・教育学系(院現社)	070E1505	36	04	
関連	アメリカ経済論	2	講義	未定	非常勤講師	070E1506	36	04	
関連	EU経済論	2	講義	廣田 功	人社・教育学系(経)	070E1507	36	04	
関連	東欧経済論	2	講義	小山 洋司	人社・教育学系(経)	070E1509	36	04	
関連	アジア経済論Ⅰ	2	講義	溝口 由己	人社・教育学系(経)	070E1510	36	04	
関連	アジア経済論Ⅱ	2	講義	溝口 由己	人社・教育学系(経)	070E1511	36	04	
関連	市場と組織の理論	2	講義	大屋 靖成	人社・教育学系(経)	070E1514	36	04	
関連	異文化論	2	講義	辻 照彦	人社・教育学系(経)	070E1516	33	04	
関連	異文化論	2	講義	恩田 公夫	人社・教育学系(経)	070E1517	33	04	
関連	演習ⅠA	2	講義	伊藤 隆康	人社・教育学系(経)	070E2001	36	13	
関連	演習ⅠB	2	講義	伊藤 隆康	人社・教育学系(経)	070E2021	36	13	
関連	演習ⅠA	2	講義	齋藤 忠雄	人社・教育学系(経)	070E2003	36	13	
関連	演習ⅠB	2	講義	齋藤 忠雄	人社・教育学系(経)	070E2023	36	13	
関連	演習ⅠA	2	講義	藤井 隆至	人社・教育学系(院現社)	070E2009	36	13	
関連	演習ⅠB	2	講義	藤井 隆至	人社・教育学系(院現社)	070E2029	36	13	
関連	演習ⅠA	2	講義	溝口 由己	人社・教育学系(経)	070E2015	36	13	
関連	演習ⅠB	2	講義	溝口 由己	人社・教育学系(経)	070E2035	36	13	
関連	演習ⅠA	2	講義	山崎 剛志	人社・教育学系(経)	070E2016	36	13	
関連	演習ⅠB	2	講義	山崎 剛志	人社・教育学系(経)	070E2036	36	13	
関連	演習ⅡA	2	講義	伊藤 隆康	人社・教育学系(経)	070E2041	36	14	
関連	演習ⅡB	2	講義	伊藤 隆康	人社・教育学系(経)	070E2061	36	14	
関連	演習ⅡA	2	講義	齋藤 忠雄	人社・教育学系(経)	070E2043	36	14	
関連	演習ⅡB	2	講義	齋藤 忠雄	人社・教育学系(経)	070E2063	36	14	
関連	演習ⅡA	2	講義	藤井 隆至	人社・教育学系(経)	070E2050	36	14	
関連	演習ⅡB	2	講義	藤井 隆至	人社・教育学系(経)	070E2070	36	14	
関連	演習ⅡA	2	講義	溝口 由己	人社・教育学系(経)	070E2056	36	14	
関連	演習ⅡB	2	講義	溝口 由己	人社・教育学系(経)	070E2076	36	14	
関連	演習ⅡA	2	講義	山崎 剛志	人社・教育学系(経)	070E2057	36	14	
関連	演習ⅡB	2	講義	山崎 剛志	人社・教育学系(経)	070E2077	36	14	

備考：Rは「必修科目」を表す。

平成19年度 分野別副専攻

■テーマの名称「会計学」

副専攻の概要 本副専攻は、簿記会計のスキルの習得に関心のある学生に対し、会計学科目を提供する。具体的には、日本商工会議所の検定簿記試験の分野をカバーする科目を配置し、勉学意欲のある学生に対する学習の場を提供するもので、経営学科の「会計履修コース」の簿記分野をコアとして科目を開放する。講師陣として、会計学の専任教員のほか、現職の公認会計士、税理士、大原簿記学校専任講師が担当することも本副専攻の大きな特徴である。

副専攻のねらい 本専攻での学習を通じて、企業が投資家や株主・債権者といった外部の利害関係者に提出する財務情報（有価証券報告書、決算短信、アナニュアルレポートなど）の性質を理解するとともに、簿記に関する講義を段階的に受講することによって、企業会計にとって不可欠なスキルであるが、会計基準の複雑化に伴い、一層難しくなっている簿記を段階的に理解することができる。

副専攻の到達目標

1. 企業が公表する財務情報に記載されている情報の内容を理解できる。
2. 新聞紙上で公表される会計関連記事の内容を理解し、その意味を説明することができる。
3. 最低限、日本商工会議所の検定簿記試験2級程度の簿記を修得する。
4. 日本商工会議所の検定簿記試験1級の商業簿記・会計学及び、公認会計士試験の財務会計論、税理士試験の簿記論・財務会計論 について、合格水準に達する上で不可欠な簿記・財務会計の知識を修得する。

副専攻委員会委員

- 木下 勝一
- ・柳 喜重郎
- ・李 健泳
- ・山口 直也

認定条件及び評価の方法

- ・本副専攻プログラムが定めた授業科目から24単位以上を修得していること。
- ・卒業時の総修得単位数が、所属する学部卒業要件単位数に12単位以上を加えたものであること。
- ・卒業時のGPAが2.5以上であること。
- ・当該学生が所属する主専攻課程（学科）に関わる科目のうち、副専攻科目として認定する単位は最大6単位とする。
- ・コア科目から必修科目を含む12単位以上の単位取得が必要である。
- ・経済学部学生を除く。

分類	授業科目名	単位	形式	授業担当者	所属	講義番号	分野	水準	備考
コア	簿記会計入門	1	講義	木下 勝一	人社・教育系 (院現社)	070Q9037	37	03	R
コア	会計職能論	2	演習	山口 直也	人社・教育系 (経)	070Q0038	37	04	R
コア	会計入門	2	講義	山口 直也	人社・教育系 (経)	070E3600	37	03	
コア	商業簿記	4	講義	木下 勝一・他	人社・教育系 (院現社)	070E3400	37	04	
コア	財務会計論	4	講義	木下 勝一	人社・教育系 (院現社)	070E3401	37	04	
コア	演習Ⅰ	2	演習	木下 勝一	人社・教育系 (院現社)	070E3500	37	13	
コア	検定簿記Ⅰ	2	講義	高橋 淑浩	非常勤講師	070E3601	37	04	
コア	検定簿記Ⅱ	2	講義	高橋 淑浩	非常勤講師	070E3602	37	04	
コア	中級簿記	2	講義	高橋 淑浩	非常勤講師	070E3603	37	04	
関連	A C演習	2	演習	柳 喜重郎	人社・教育系 (経)	070E3504	37	03	
関連	中級財務会計論Ⅰ	2	講義	柳 喜重郎	人社・教育系 (経)	070E3604	37	04	
関連	中級財務会計論Ⅱ	2	講義	加井 久雄	人社・教育系 (経)	070E3605	37	04	
関連	会計情報論	2	講義	柳 喜重郎	人社・教育系 (経)	070E3607	37	04	
関連	国際会計論	2	講義	加井 久雄	人社・教育系 (経)	070E3608	37	04	
関連	会計監査論Ⅱ	2	講義	山崎 真	非常勤講師	070E3610	37	04	
関連	工業簿記	4	講義	高橋 信太	非常勤講師	070E3612	37	04	
関連	原価計算論Ⅰ	2	講義	山口 直也	人社・教育系 (経)	070E3613	37	04	
関連	管理会計論Ⅰ	2	講義	山口 直也	人社・教育系 (経)	070E3615	37	04	
関連	管理会計論Ⅱ	2	講義	山口 直也	人社・教育系 (経)	070E3616	37	04	
関連	業績管理会計論Ⅰ	2	講義	李 健泳	人社・教育系 (経)	070E3617	37	04	
関連	業績管理会計論Ⅱ	2	講義	李 健泳	人社・教育系 (経)	070E3618	37	04	
関連	経営財務論Ⅰ	2	講義	中田 弘樹	人社・教育系 (経)	070E3619	37	04	
関連	経営財務論Ⅱ	2	講義	中田 弘樹	人社・教育系 (経)	070E3620	37	04	
関連	財務会計論Ⅰ	2	講義	木下 勝一	人社・教育系 (院現社)	070E3621	37	04	
関連	財務会計論Ⅱ	2	講義	木下 勝一	人社・教育系 (院現社)	070E3622	37	04	
関連	公会計論Ⅰ	2	講義	桜内 文城	人社・教育系 (経)	070E3623	37	04	
関連	公会計論Ⅱ	2	講義	桜内 文城	人社・教育系 (経)	070E3624	37	04	

備考：Rは「必修科目」を表す。

平成19年度 分野別副専攻

■テーマの名称「電子・情報科学」

副専攻の概要 私たちの暮らしは、多くの電気電子情報機器・システムによって支えられており、それらの光の部分として多くの利便性を受けている。その一方で、それらへの「過度の依存」や「過信」、さらには「拒絶反応」という影の部分も生じているため、それらの背後にある「科学技術」を正しく理解しておく必要がある。そこで本副専攻では、特に「電気・電子工学」、「情報工学」、「数理科学」に焦点を絞り、具体的な機器・システムと、その基礎となる物理・化学現象、数理モデルについて理解を深めるためのプログラムを提供する。

副専攻のねらい 電気・電子工学、情報工学、数理科学の各分野の基礎知識を習得し、身近にある電気電子情報機器・システムの動作原理と特性について理解する。さらに、動作原理の基礎となっている物理・化学現象や様々な数理モデルについても理解を深め、機器・システムは「人間がその認知によって自然現象を巧みに利用して作り上げたもの」であることを正しく理解する。

副専攻の到達目標

1. 抵抗、コンデンサ、コイルの電気的特性及びこれらの特性を利用した電気電子デバイス・装置の具体例について説明できる。
2. 温度計測のうち電気電子による方法について理解し、これの応用による環境制御技術について概要を説明できる。
3. フーリエ解析の観点から、周波数領域における信号の分析・合成法について概要を説明できる。
4. 暗号・符号などの具体的事例を基に、数理的デジタル処理の利点と応用について説明できる。
5. コンピュータとソフトウェアに関する基礎的な用語や概念を用い、情報処理システムの具体例について説明できる。

副専攻委員会委員
○佐々木修己
・林 豊彦
・竹内 照雄
・中野 和弘

認定条件及び評価の方法

- ・本副専攻プログラムが定めた授業科目から24単位以上を修得していること。
- ・卒業時の総修得単位数が、所属する学部の卒業要件単位数に12単位以上を加えたものであること。
- ・卒業時のGPAが2.5以上であること。
- ・当該学生が所属する学部に関わる科目のうち、副専攻科目として認定する単位は最大12単位とする。
- ・当該学生が所属する主専攻課程（学科）に関わる科目のうち、副専攻科目として認定する単位は最大6単位とする。
- ・コア科目から必修科目を含む12単位以上の単位取得が必要である。
- ・コア科目からは、必修科目1単位、およびA科目とB科目からそれぞれ4単位以上（合計9単位以上）を取得すること。
- ・上記の単位取得条件を満たした場合に本副専攻の到達目標を達成したと認める。
- ・必修科目「電子・情報科学」入門は、最初に履修することが望ましい。
- *工学部福祉人間工学科の学生は、C1とC2の科目を聴講できない。工学部電気電子工学科・情報工学科の学生は、C2の科目を聴講できない。同一科目名の授業を複数聴講できない。

分類	授業科目名	単位	形式	授業担当者	所属	講義番号	分野	水準	備考
コア	電子・情報科学入門	1	演習	佐々木 修己・他	自然科学系 (工)	070Q9039	99	03	R
コア	くらしと数理	2	講義	磯貝 英一	自然科学系 (理)	070G6002	41	03	A
コア	エレクトロニクスへの招待	2	講義	小椋 一夫	自然科学系 (工)	070G6044	51	03	A
コア	コンピュータへの招待	2	講義	仙石 正和	自然科学系 (工)	070G6039	10	03	A
コア	高福祉社会を支える「生活支援工学」入門	2	講義	林 豊彦	自然科学系 (工)	070G6040	56	03	A
コア	農業ネットサービス論	2	講義	町田 武美	非常勤講師	070A3405	65	04	A
コア	計算機概論	2	講義	竹内 照雄	自然科学系 (理)	070S1008	10	03	B
コア	エレクトロニクス入門	2	講義	加藤 景三	自然科学系 (院自然)	070G6045	51	03	B
コア	法と情報社会	2	講義	佐藤 信行	非常勤講師	070T2073	10,28	04	B
コア	科学技術者の倫理	2	講義	丸山 武男	自然科学系 (工)	070G6041	16	03	B
コア	技術者倫理	2	講義	紙谷 智彦	自然科学系 (院自然)	070A3308	62,65	14	B
関連	情報基礎数学Ⅰ	2	講義	吉原 久夫	自然科学系 (理)	070S1015	41	04	C
関連	情報基礎数学Ⅱ	2	講義	秋山 茂樹	自然科学系 (理)	070S1016	41	04	C
関連	情報管理学	2	講義	蛭川 潤一	自然科学系 (理)	070S1038	10	04	C
関連	情報統計学	2	講義	蛭川 潤一	自然科学系 (理)	070S1039	41	04	C
関連	情報社会学	2	講義	竹内 照雄	自然科学系 (理)	070S1010	10	03	C
関連	プログラミング概論	2	講義	竹内 照雄	自然科学系 (理)	070S1011	10	03	C
関連	電気回路Ⅰ	2	講義	菅原 晃	自然科学系 (工)	070T2037	51	04	C
関連	電磁気学Ⅰ	2	講義	清水 英彦・他	自然科学系 (工)	070T2045	51	04	C
関連	データベース	2	講義	青山 茂義	総合情報処理センター	070T3028	10	04	C
関連	自然言語処理	2	講義	宮崎 正弘	自然科学系 (工)	070T3031	10	04	C
関連	支援機器工学	2	講義	木竜 徹・他	自然科学系 (院自然)	070T4025	56	24	C
関連	支援情報工学	2	講義	宮川 道夫	自然科学系 (工)	070T4026	56	24	C
関連	メカトロニクス	2	講義	大橋 修	自然科学系 (工)	070T1048	50	04	C1*
関連	ロボット工学	2	講義	大矢 誠	自然科学系 (工)	070T1049	50	04	C1*
関連	システム制御Ⅰ	2	講義	横山 誠	自然科学系 (工)	070T1050	50	04	C2*
関連	電気電子工学概論	2	講義	小林 敏志	自然科学系 (工)	070T7050	54	04	C2*
関連	電気回路基礎論	2	講義	小林 敏志	自然科学系 (工)	070T7009	54	04	C2*
関連	半導体工学	2	講義	小林 敏志	自然科学系 (工)	070T7021	54	04	C2*
関連	計測工学	2	講義	村山 実	非常勤講師	070T7036	54	04	C2*
関連	電気電子工学概論	2	講義	小林 敏志	自然科学系 (工)	070T7050	54	04	C2*
関連	食料環境工学	2	講義	中野 和弘	自然科学系 (院自然)	070A3301	65	03	C
関連	農業機械システム学	4	講義	中野 和弘	自然科学系 (院自然)	070A3403	65	03	C
関連	農業プロセス工学	2	講義	中野 和弘	自然科学系 (院自然)	070A3406	65	04	C
関連	知識情報工学概論	2	講義	星 岳彦	非常勤講師	070A3407	65	04	C
関連	農業機械設計・製図 (Ⅰ)	2	講義	未定	未定	070A3408	65	14	C
関連	農業機械設計・製図 (Ⅱ)	2	講義	未定	未定	070A3412	65	14	C
関連	農業施設システム論	2	講義	北村 豊	非常勤講師	070A3409	65	04	C

備考：Rは「必修科目」、Aは「初級コア科目」、Bは「中級コア科目」、Cは「関連科目」、C1は「関連科目1」、C2は「関連科目2」を表す。

平成19年度 分野別副専攻

■テーマの名称「統合化学」

副専攻の概要	世の中のものすべて「物質」から出来ており、「物質」の科学である「化学」はあらゆる自然科学の基礎とすることが出来る。しかも「化学」は地球環境・エネルギー繊維、プラスチック、セラミックスなどのあらゆる化学製品、食品、医薬品のみならず電気、通信、情報、自動車などありとあらゆる工業製品の製造に重要である。そこで本副専攻では化学を自然科学として広くとらえることのできる専攻を提供する。
副専攻のねらい	所属部局で学ぶ「化学」を基礎とし、その他の多方面の「化学」に触れることにより、「化学」という学問をより発展的に理解し、応用することを習得する。また、「化学」の社会における役割を総合的に理解する。
副専攻の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「化学」という学問を構成する各分野の基礎を学び、基礎的問題が解ける。 2. 「化学」の応用面を多方面の視点から学び、幾つかの分野の応用的問題が解ける。 3. 「化学」の社会における役割を考察し、説明できる。
認定条件及び評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・本副専攻プログラムが定めた授業科目から24単位以上を修得していること。 ・卒業時の総修得単位数が、所属する学部の卒業要件単位数に12単位以上を加えたものであること。 ・卒業時のGPAが2.5以上であること。 ・当該学生が所属する主専攻課程(学科)に関わる科目のうち、副専攻科目として認定する単位は最大6単位とする。 ・コア科目から10単位以上、関連科目から10単位以上を取得すること。

副専攻委員会委員
○田中 真人
・徳江 郁雄
・星野 力

分類	授業科目名	単位	形式	授業担当者	所属	講義番号	分野	水準	備考
コア	統合化学入門	1	講義	田中 真人	自然科学系(工)	070Q9040	99	03	R
コア	化学基礎A	2	講義	徳江 郁雄	自然科学系(理)	070G5019	46	03	
コア	化学基礎A	2	講義	島倉 紀之	自然科学系(理)	070G5020	46	03	
コア	化学基礎A	2	講義	岡村 睦雄	自然科学系(院自然)	070G5021	46	03	
コア	化学基礎A	2	講義	岡村 睦雄	自然科学系(院自然)	070G5514	46	03	
コア	化学基礎B	2	講義	澤田 清	自然科学系(院自然)	070G5023	46	03	
コア	化学基礎B	2	講義	湯川 靖彦	自然科学系(理)	070G5023	46	03	
コア	化学基礎B	2	講義	大鳥 範和	自然科学系(院自然)	070G5022	46	03	
コア	化学基礎B	2	講義	大鳥 範和	自然科学系(院自然)	070G5516	46	03	
コア	分析化学Ⅰ	2	講義	佐藤 敬一	自然科学系(理)	070S3002	46	03	
コア	無機化学Ⅱ	2	講義	工藤 久昭	自然科学系(理)	070S3006	46	04	
コア	有機化学Ⅰ	2	講義	洞口 高昭	自然科学系(理)	070S3010	46	03	
コア	化学熱力学	2	講義	大鳥 範和	自然科学系(院自然)	070S3014	46	03	
コア	生体分子化学Ⅰ	2	講義	堀米 恒好	自然科学系(理)	070S3024	46	03	
コア	基礎有機化学	2	講義	萩原 久大	自然科学系(院自然)	070T5005	47	03	
コア	基礎無機化学	2	講義	佐藤 峰夫	自然科学系(工)	070T5006	47	03	
コア	基礎物理化学	2	講義	木村 勇雄	自然科学系(院自然)	070T5007	47	03	
コア	化学プロセス概論	2	講義	山際 和明	自然科学系(院自然)	070T5049	55	04	
コア	分析化学	2	講義	今泉 洋	自然科学系(工)	070T5052	47	04	
コア	基礎無機化学	2	講義	小野 恭史	自然科学系(工)	070T7011	54	04	
コア	基礎高分子化学	2	講義	山内 健	自然科学系(院自然)	070T7013	54	04	
コア	基礎電気化学	2	講義	安田 守宏	自然科学系(工)	070T7010	54	04	
コア	分析化学	2	講義	未定	未定	070A2012	46	03	
コア	機器分析化学	2	講義	末吉 邦・他	自然科学系(農)	070A2013	61,46	03	
コア	食品化学	2	講義	城 斗志夫	自然科学系(農)	070A2002	61	03	
コア	生物化学Ⅰ	2	講義	三ツ井 敏明	自然科学系(農)	070A2006	61,57	04	
コア	生物有機化学	2	講義	星野 力	自然科学系(農)	070A2010	61,46	04	
関連	放射化学Ⅱ	2	講義	後藤 真一	機器分析センター	070S3009	46	04	
関連	有機化学Ⅱ	2	講義	洞口 高昭	自然科学系(理)	070S3011	46	03	
関連	凝縮系化学	2	講義	丸山 健二	自然科学系(理)	070S3023	46	04	
関連	高分子化学概論	2	講義	青木 俊樹	自然科学系(工)	070T5056	47	04	
関連	化学工学基礎	2	講義	伊東 章	自然科学系(工)	070T5058	55	04	
関連	反応工学Ⅰ	2	講義	田中 真人	自然科学系(工)	070T5059	55	04	
関連	拡散操作Ⅰ	2	講義	大川 輝	自然科学系(工)	070T5060	55	04	
関連	化学熱力学	2	講義	児玉 竜也	自然科学系(工)	070T5067	47	04	
関連	高分子材料化学	2	講義	坪川 紀夫	自然科学系(工)	070T7030	54	04	
関連	酵素工学	2	講義	谷口 正之	自然科学系(工)	070T7032	54	04	
関連	固体物性化学	2	講義	太田 雅壽	自然科学系(工)	070T7029	54	04	
関連	生物材料工学	2	講義	田中 孝明	自然科学系(工)	070T7033	54	04	
関連	酵素化学	2	講義	堀 秀隆	自然科学系(院自然)	070A2115	61,47	05	
関連	環境汚染物質化学	2	講義	野中 昌法	自然科学系(院技経)	070A2113	61	04	
関連	栄養生化学	2	講義	門脇 基二・他	自然科学系(農)	070A2110	61	05	
関連	木材物理化学	2	講義	中村 昇	自然科学系(農)	070A2104	62	04	
関連	生物機能物質化学	2	講義	佐藤 努	自然科学系(農)	070A2014	61	05	
関連	肥料学	2	講義	大山 卓爾・他	自然科学系(農)	070A2106	61	04	

備考：Rは「必修科目」を表す。

【趣旨】

第1条 この規則は、新潟大学学則（平成16年学則第1号）第45条の2第2項の規定に基づき、新潟大学における副専攻の認定等に関し必要な事項を定めるものとする。

【副専攻の目的】

第2条 副専攻は、学部及び学科又は課程の専攻に係る分野以外の特定分野又は特定課題について、授業科目を体系的に編成することにより、学生の多様な知的探究心と資質に即したプログラムを提供し、多元的理解力、統合的理解力等を育成することを目的とする。

【副専攻の区分】

第3条 副専攻は、そのプログラムの編成方法により、分野別副専攻及び課題別副専攻に区分する。

- 2 分野別副専攻のプログラムは、特定の分野の授業科目により編成するものとする。
- 3 課題別副専攻のプログラムは、特定の課題について幅広い分野にわたる授業科目により編成するものとする。
- 4 副専攻として開設するプログラムは、別表のとおりとする。

【認定の要件】

第4条 副専攻の認定を希望する学生は、第3年次末までに当該副専攻プログラムの入門科目として定める授業科目を履修し、その単位を修得しなければならない。

- 2 副専攻を認定することができる学生は、次に掲げる要件を満たすものとする。
 - (1) 当該副専攻プログラムの認定の対象となる別表に定める資格を有し、かつ所定の授業科目について24単位以上を修得していること。
 - (2) 卒業時の総修得単位数が、所属する学部の卒業要件単位数に12単位以上を加えたものであること。
 - (3) 卒業時まで履修したすべての授業科目について、次表の計算方法による1単位当たりの成績の平均値が2.5以上であること。

$$\frac{(\text{各授業科目の単位数} \times (\text{各授業科目の評価} - 50) \div 10) \text{の総和}}{\text{履修した各授業科目の単位数の総和}}$$

履修した各授業科目の単位数の総和

備考 この算式において「(各授業科目の評価-50)」の値が負の数となる場合は、その値を「0」とする。

【副専攻の認定申請】

第5条 副専攻の認定を受けようとする学生は、卒業年次の所定の期日までに副専攻の認定に係る申請を行わなければならない。

【副専攻の認定】

第6条 副専攻の認定は、全学教育機構委員会の議を経て全学教育機構長（以下「機構長」という。）が行う。
2 機構長は、前項により副専攻の認定を行ったときは、学長に報告するものとする。

【副専攻の認定証書の授与】

第7条 学長は、前条第2項による報告に基づき、副専攻の認定を受けた者に副専攻認定証書（別記様式）を授与する。

【雑則】

第8条 この規則に定めるもののほか、副専攻に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規則は、平成17年4月1日から施行する。

附 則（平成18年3月31日規則第7号）

この規則は、平成18年4月1日から施行する。

※第3条第4項の別表、第7条の別記様式を除く。



問い合わせ先

〒950-2181 新潟市西区五十嵐2の町8050番地
新潟大学 学務部 教務課
電話 (025) 262-6303 FAX (025) 262-6304

